

## 会 議 録

会議の名称	第27回小金井市公立保育園運営協議会次第	
事務局	子ども家庭部保育課	
開催日時	平成28年1月28日(木) 午後7時30分～10時00分	
開催場所	市役所第二庁舎 801会議室	
出席者	五園連	東海林一基 委員 (くりのみ保育園) 本多由美子 委員 (くりのみ保育園) 岡崎 英 委員 (けやき保育園) 八下田友恵 委員 (小金井保育園) 寺地 理奈 委員 (小金井保育園) 石澤 和絵 委員 (さくら保育園) 小泉 未紀 委員 (さくら保育園) 細部真佐子 委員 (わかたけ保育園) 三橋 誠 委員 (わかたけ保育園)
	市	佐久間育子 委員 (子ども家庭部長) 鈴木 遵矢 委員 (保育課長) 藤井 知文 委員 (保育課長補佐兼保育係長) 前島 美和 委員 (くりのみ保育園園長) 海野 仁子 委員 (けやき保育園園長) 小方 久美 委員 (小金井保育園園長) 福野 敬子 委員 (さくら保育園園長) 杉山 久子 委員 (わかたけ保育園園長)
欠席者	宮田 優子 委員 (けやき保育園)	
傍聴の可否	(可) ・ 一部不可 ・ 不可	
傍聴者数	5人	
会議次第	1 開会 2 議事 (1) 第26回会議録について (2) 小金井市公立保育園父母の会意見・要望、総合的見直し協議と現状の保育内容の維持・向上について (3) わらしこ保育園視察について (4) 保護者の求める保育ニーズについて (5) 保育の質について (6) 公立保育園運営協議会報告書の取りまとめについて (7) 小金井市保育検討協議会について (8) 当面の課題について	

	(9) 次回日程の確認
発言内容・ 発言者名（主な 発言要旨）	別紙のとおり
会議結果	<p>1 開会</p> <p>2 議事</p> <p>(1) 第26回会議録について 校正については、2月5日までに事務局に連絡し、確認は委員長に一任することとした。</p> <p>(2) 小金井市公立保育園父母の会意見・要望、総合的見直し協議と現状の保育内容の維持・向上について 保育課長から（資料113）小金井市公立保育園父母の会意見・要望、総合的見直し協議と現状の保育内容の維持・向上について説明を行い、三橋委員長から補足説明を行った後、質疑を行い、終了した。</p> <p>(3) わらしこ保育園視察について 保育課長から小金井市保育検討協議会視察記録（資料114）について説明を行い、文言等の修正を行い確定することとした。</p> <p>(4) 保護者の求める保育ニーズについて 保育課長から（資料115）平成27年度公立保育園の運営に関するアンケート結果（概要3）の説明を行い、質疑の後、若干の修正を加え、確定することとした。</p> <p>(5) 保育の質について 小方委員から（資料116）公立保育園の行事の経過と取り組み～「運動会」から『プレイデー』へ～の説明を行い、質疑の後、終了し。</p> <p>(6) 公立保育園運営協議会報告書の取りまとめについて 三橋委員長から（資料117）小金井市公立保育園運営協議会（第1期）報告書骨子案について説明を行い、質疑の後、次回検討することとした。</p> <p>(7) 小金井市保育検討協議会について 保育課長から（資料118）今後の小金井市の保育行政の在り方に関する意見～小金井市保育検討協議会報告～について説明を行い、質疑の後、終了した。</p> <p>(8) 当面の課題について 保育課長補佐から（資料119）職員の募集配置状況について説明を行い、質疑の後、終了した。</p> <p>(9) 次回日程の確認 平成28年2月29日（月）19時30分から開催することとした。</p>

提出資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 小金井市公立保育園父母の会意見・要望、総合的見直し協議と現状の保育内容の維持・向上について</li> <li>(2) 小金井市保育検討協議会視察記録（資料114）</li> <li>(3) 平成27年度公立保育園の運営に関するアンケート結果（概要3）（資料115）</li> <li>(4) 公立保育園の行事の経過と取り組み～「運動会」から『プレイデー』へ～（資料116）</li> <li>(5) 小金井市公立保育園運営協議会（第1期）報告書骨子案（資料117）</li> <li>(6) 今後の小金井市の保育行政の在り方に関する意見～小金井市保育検討協議会報告～（資料118）</li> <li>(7) 職員の募集配置状況（資料119）</li> </ul>
その他	なし

第 27 回小金井市公立保育園運営協議会 会議録

平成28年1月28日

開 会

- 佐久間委員長 それでは、ただいまから小金井市公立保育園運営協議会の会議を開会いたします。
- きょうは資料もたくさんありまして議題も多いことから、いつも以上に皆様の円滑な進行にご協力をいただきたいと思います。よろしく願いいたします。
- それでは、議事に沿いまして進行いたします。
- 初めに、議事の(1)第26回会議録の確認についてを議題といたします。
- 事務局から説明をお願いいたします。
- 保育課長 保育課長です。
- 本日、会議録の確認はせず、取り扱いにつきましては2月5日までに委員の皆さんに修正のご連絡をいただき、確認は委員長にご一任いただきたいと思います。以上です。
- 佐久間委員長 ただいま事務局の説明のとおり取り扱うことにご異議ございませんか。よろしいですか。
- ありがとうございます。ご異議がございませんので、第26回会議録につきましてはただいま決定したとおりといたします。
- 次に、議事の(2)小金井市公立保育園父母の会意見・要望、総合的見直し協議と現状の保育内容の維持・向上についてを議題といたします。
- 資料が提出されておりますので、説明をお願いします。
- 保育課長 保育課長です。
- それでは、資料説明をいたします。資料113です。
- 本資料につきましては、平成28年1月20日に小金井市公立保育園父母の会から提出されました。保育課において同日收受し、市長決裁を行っているところです。
- 本文とあわせまして、添付資料として平成27年11月21日付、平成27年度小金井市公立保育園父母の会意見・要望と、同じく平成27年12月8日付、シヨウホ発第451号で同意見・要望に対する回答文書、また平成26年1月22日付で小金井市公立保育園父母の会から提出された平成26年4月からの公立保育園の保育体制について(要望)、それから2013年12月18日付で交わされた小金井市公立保育園運営協

議会の運営方針に関する覚書が添付されております。その添付されたものについては、今回資料としての配付は省略させていただいております。

説明については以上です。

○佐久間委員長 説明が終わりました。

この件に関しましては、ちょっと私のほうから。1月20日に提出していただきまして、その要望につきましては市長までの決裁をいただき、これに関して昨年の12月18日付で西岡市長が就任されたことから、市長の公約でもありました対話を大事にするということで皆様には選挙公約でお話をさせていただいたところですので、今般この要望書につきまして、皆様のご意見も頂戴するという意味で日程調整をいたしまして、2月の13日の土曜日午後2時から五園連が開催されることから、場所は801会議室、市長にご出席いただきまして皆様のご意見をお聞かせいただきたいということですので、大体1時間ぐらいをめどに考えています。この要望書の内容はもちろんですけれども、市長のほうには今事務局のほうでご説明をしました今までの経過についてもお渡しをしてございますので、それも含めてお話をさせていただければということで、進行等につきましては私のほうで進めさせていただきますが、市長に直接お話をしたいというような方についてはご発言をいただくようになるかと思えます。三橋委員長、お願いします。

○三橋委員長 ありがとうございます。まずは本当に部長、いろいろご調整ありがとうございます。

僕のほうからもちょっとこれは補足しなきゃいけないと、何かといいますと、公立保育園父母の会、要は五園連ですね、我々の出身母体のほうからの意見・要望書ですけども、これに加えてちょっと僕の名前も連名で出させていただいています。本来的にはちょっともう五園連で出していれば、僕はちょっと一歩引いた形でいうところでもいいかなとも思っていたんですが、ちょっといろいろと経緯、実際の経緯とかあるいはこれから話しますけど中身について、この運営協議会が深くかかわっていますし、もう僕もちょっと正直言うと最後ということもあるんで、こういうような形で連名で出させていただいて、きょうこの場でもう、本来であれば皆さんに一度諮ってというところもあるかなということだったんですが、五園連の中でちょっと話はしていたんですけども、タイミング、市長がかわられて検討協議会が報告書を出してといったところのタイミングもありましたので、父母側のほうではメール等でちょっとやりとりさせていただいて、こういう場所に出させていただいたという形になっております。

趣旨なんですけども、今回このサブタイトルとして「総合的な・・・と現実の保育内

容の維持・向上について」という形でサブタイトルを出させていただいて、これ平成26年のときにもほぼ同じようなタイミングですかね、そのときは26年4月に保育士体制に関してかなり不安がありますというところを書きました。それは当然背景はどういうことかという、退職者の方の補充が26年のとき任期つき4名という形で、4名の任期つきの方を採用するというのはなかなか大変ではないかといったような話ですとか、あるいは過去なかなか正職の方の採用が臨職とかで大変だったこともありますので、26年4月からの体制についてちょっと不安があるという話をさせていただいた上で、それに加えて運営協議会で議論する中で現状の保育士体制がいろいろと大変な状況になってくると、せつかく議論をしていたとしても例えば休日保育だとか延長保育だとかといっても、現状の保育体制をうまくしかりしなかったらそういったことを議論してもなかなか意味がないという話がこの議論の場でもありましたので、そういったところの話をその場で要望として出させていただいて、協議にも影響があったりするということで懸念をしていますという話でした。

結果的に26年4月に関しては採用自体は滞りなくできたんですが、ただやはり任期つきということで一定の期間の後退職されてしまうというところがありますので、今般そういったところの課題という、雇用の継続というか、雇用というよりは保育の継続という観点とか、あるいは継承という観点からもちょっと課題感があり、父母から見るとやっぱり先生方がころころかわったりとか、人間関係をつくっていくということで大変だということがあったりとか、あるいはかみつきとかひっかきとかそういったようなところも見受けられるということで、いろいろとご尽力いただいている方にもちょっとやっぱり大変なところがあるというところが26年4月に出したところです。

それと趣旨的には大きく変わってはいないんですが、ただポイントとしてはより協議の見直しとか現実の保育の内容維持・向上についてちょっと中心に書いていて、どうということかといいますと、当面の保育士体制というのは当然として、前文でも書いたんですけども、一番最後のところ、検討協議会とかが立ち上がりまして、最終的にその報告書の中では公立保育園の役割として特別な配慮が必要な児童や要保護児童の支援等に加えて、保育施設の・・・・・・には保育のスタンダードを示す役割が示されましたということで、ちょっときょうは時間がそんなにないかもしれないんですけども、保育検討協議会の報告書の中では市のほうが提出しました要保護児童とか特別な配慮が必要な児童の保護、行政機関としての役割とか幾つか、3つぐらい上げてるんですけども、そう

いったことに加えて保育施設の中核機能とか保育のスタンダード、そういったものの役割というのを示されて、そういったところをこの運営協議会でも議論していけたらという話が答申の中で意見として出ています。また、そういった役割というのが示されております。

この学識経験者、公募委員を含む会議の場でこういうときの役割について積極的な意見が求められたということで、そこは非常にちょっと大きな意味があるかなと思っていて、運営形態については両論併記なんですけども、そういった役割をしっかりと認識して積極的な役割が与えられるということであれば、自然とどういふふうな運営形態がいいかという話も出てくるのかなと思っています。

加えて、運営協議会で我々実施したアンケート、きょうもちょっと議論しますけども、前回も話しているように95%の人が満足しているという非常に高い評価が出ているということで、それでいろいろと意見・要望とかこれまで出してきたという形なので、この意見書なり要望書の中では過去こういった五園連で議論してきたこと、ないしは意見・要望というのをしっかりと添付して市長に理解していただくという趣旨で、まずはそういう内容を理解していただき、今の保育内容の維持・向上とこの満足度が変わらないような対応を改めてお願いするところを一番のメインの話とした上で、具体的に2点お願いをしているという形です。

その2点というのが、まさにこの運営協議会の議論の協議に影響がないようにしていただくという形で、当面の保育内容というのはもちろんですけども、この運営協議会の協議の内容に負の影響がないところをちょっと大事にしたいなという形にいきます。

その意味合いというのはここに書いてあるとおりで、先生方ってこれ事前に読んでいますか。

(「当日」と呼ぶ者あり)

○三橋委員長　　そうなんですか。そうするとごめんなさい、父母側はありますけど、先生方は読んでないということだそうで本当は読み上げたほうがよかったかもしれないんですけど、保育体制に関しては太字のところがポイントですけども、言ってることは園をやっていく中でご尽力いただいていることは十分理解しているんですけども、欠員問題とか担当する保育士がかわることによって先生や保護者のコミュニケーションに影響が生じているケースが出ているということで、具体的などは26年4月の文書等に書いてあると

ころなのでここではそこまで詳しくは書いていませんが、運営協議会では期間を定めない正規職員が年々減少していることに関して、中長期的に現在の保育の水準を維持することに対して懸念の声が上がっているほか、障がい児保育の拡充、延長保育のさらなる延長などの検討課題にあっても、現在の体制が安定しない中では協議することが難しくなってきた。

それだけでなく、ここもちょっともめたんですけども、現状の期間の定めのない正規職員が減少していくことにより現状の保育体制が維持できなくなることで、今後の運営形態の議論にも影響を及ぼすことを懸念しているということで、アンケートの中でははっきりと書いていますけども、いわゆる兵糧攻めじゃないですけど、正規の保育士の方が年々減っていく中で人数が減って行って、なかなか現状の体制が維持できなくなるから民営化の話とかという、学童とか給食なんかもそういったような議論があったというふうな理解もしてたりするんですけども、そういったところを保育のほうにも絶対影響が出てくるんじゃないかというところを懸念しているところをここでは書いている次第であります。

一方で、本来公立保育園の役割として検討協議会の報告書の中では、これまで以上に積極的な役割が求められる中、その役割に着実な実施に向けて運営協議会で協議するにもかかわらず、現状のような状況が継続することは運営協議会の議論に大きく影響するだけでなく、小金井市の保育全体にも多大な影響を及ぼすこととなります。それは先ほどの26年4月のこととか言った上で、あるいはこの間のアンケートで1番目、保育施策の問題になっているといったところをお示しした上で、当面の保育内容、負の影響を及ぼすことはもちろんのこと、中長期的な保育の質の低下や、任期付きの職員や臨時の職員は継続して働いていただき、期間の定めのない正規職員の採用を検討くださいということで、前々から我々話をしているところですけども、労使の協議の中に我々立ち入る話ではないですし、今の臨職の方とか任期付きの方がそれが問題とかそういう話ではなくて、我々からしてみるとあくまでも目の前にいる先生方ができるだけ長く働いていける、ないしは長期でコミュニケーションとれるような関係をつくっていただいて、それが保育の継承につながればという意味で現状の任期付きや臨時職員の方でうまく適用すれば継続して働いていただいたりとか、あるいは期間の定めのない正規職員の採用というのを検討していただければというところでお話をしているところでお話をしているところで、これは保育課のほうと佐久間部長のほうからも、そういった正規職員の採用



というのは必要だというようなご認識をいただいているということも踏まえて改めてこういった要望をして、それを後押しするような形にしたいなというところを市長にもお伝えできたというところが一つあります。

あとは、2番のほうは今まで話してるとおりで、小金井市公立保育園運営協議会の覚書を遵守するという話で、こちらのほうにつきましても今までの市とのやりとりを述べさせていただいて、毎回遵守するという形で書いていただいていますので、市長がかわられたということもあるので、こういった覚書があるということをお示ししてご理解いただくというところかなと思います。

特にこの1年間ですか、協議が組合のほうではこの1年間が一つの期間になっていると思います。我々のこの運営協議会のほうは期間の定めがなく、そういったことにとらわれずに協議を続けていくことになると思うんですが、そういった保育士体制なり今の状況というところが今後どうなっていくかというところは注視して、それによってはこちらのほうの運営協議会の議論にも大きく影響を与えるではないかなというところが当然ありますし、そういったところについてもしっかりとこの1年間、市のほうの対応というのはこれ文書出してすぐにぱっと何か変わるということではなくて、そういった協議をいろいろとされてる中で父母がこういったような認識を持っていて、我々もこの4月でメンバーがかわりますし、五園連のメンバーもかわりますけれども、こういったことは継続的に議論できるようなことが大事だということで、今回立ち位置、市長にもきちんとそういったものをお示しして、我々のほうも継続した議論ができるように文書をまとめたいというところになっています。

そういった意味合いからいいますと、一番最後に書いたようにここ数年、市と五園連との懇談会や運営協議会の検討協議等を通じて市側と五園連側の相互理解というのは一定深まっていると認識をしているので、こういった上記課題についても協議や対応をして相互理解を深めていきたいと考えていますということで、ちょっと後で時間がないかもしれないんですけど、検討協議会の中では前回政治的な発言、議会で発言とかあった中で、そういった前市長の発言とかがある中でも、例えば部局のほうはどういうふうに考えているのかという質問があったんですが、そして佐久間部長のほうからはきっぱりと部局と考え方が違うというか、そごがあるというような発言をしていただいて、それなんかもふだんからこういった場で議論していったら、お互い相互理解を深めていく中でしっかりとそういったような立ち位置が一緒の場で議論ができていたのかと思いますし、

そういった意味で相互理解が深まっているのかなと思っておりますし、今回市長に声かけただいてご理解いただいて、そういった場を設けていただけるというのもそういったところがあったからかなとちょっとっておりますので、そういったところは今後も続けていきたいかなと思っております。

ですので、13日の場も決して何か一方的に要望するとか何とかというよりは、あるいはその場で何か回答、結論を求めるというよりは、まずは我々の立ち位置とかそういったことを理解いただいて、市長のほうも今現時点で言える話とか何か思いとかがあればそれを語っていただくというような場にしたいなというふうになんて個人的には思っておりますが、あとは部局なり五園連のほうと調整しながら中身をちょっと調整していきたいなと思ってます。

一応、僕のほうからの補足説明ちょっと長くなりましたが以上ですが、父母のほうからなり先生方のほうからもぜひちょっとせつかくの場もありますので、こういったところについて特に言っておいたほうがいいのか話があるというところがあれば、ないしは父母側として直接言うこともできますけど、ここら辺ポイントでないかというところがあれば言っていて構わないので、お願いします。

○佐久間委員長 何か、ご意見とかご質問とかございますか。

○八下田委員 1番のところまで十分思いは言い尽くされてると思いますので、十分にできてると思います。ありがとうございます。

私たちはこういう思いがあって伝えてるんですけど、市長のほうで理解できないところがあればさらに説明しますぐらいの勢いなので、一字一句本当に理解してほしいなというふうに思いながら、今読んでいました。

○三橋委員長 先生方のほうにも、当日ちょっとご参加という形ではしていただけないんですけど、ちょっと個別には幾つか当日の保育とかご協力いただこうかと、お願いなんですけど、大丈夫ですか、何か発言しづらいかもしれないけど。

○佐久間委員長 市長がかわったことは一つのきっかけだと思いますし、今、市長も就任したばかりで色々課題がありますので、それを一つ一つ理解していくことを非常に努力をされていて、その中でもやはり利用者の方であるとか市民の方であるとか、そういった方々の意見を聞きたいということをおっしゃっていて、ご存じのとおり昨日、さわらび学童保育所の保護者会を開催したんですけれども、今回さわらび学童保育所を受託している事業者が去年の11月の27日に来年度以降の受託を辞退するという申し出があったことから、

次の委託先について現在プロポーザルを行うという方向で、委託を継続するという方向で市としては考えているんですけども、そういったことを説明し皆様にご理解をいただきたいという中で、市長が直接皆様にご挨拶を差し上げたいという市長からの申し出があったことから、きのうの保護者会が行われたという経過もございます。今回こういう要望書が出てきたことをきっかけに皆様のご意見を聞きたいという市長の申し出がありましたから、五園連に出席をしていただくというようなセッティングをしたという経過がございますので、今この中身について三橋委員長のほうからご説明いただきましたが、ここで質疑ということにはならないかと思うので、もし何かこれだけは聞きたいということがあれば三橋委員長のほうに集約していただくということで、申しわけありませんがこの場ではこういう形で市長に話を聞いていただく場を設けましたという報告にさせていただければと思いますので、ご了承いただきたいと思います。よろしくお願いたします。

それでは、以上で小金井市公立保育園父母の会意見・要望総合的見直し・協議と現状の保育内容の維持・向上についてを終了いたします。

次に、議事(3)わらしこ保育園視察についてを議題といたします。

資料説明をお願いいたします。

○保育課長 保育課長です。

それでは資料114、小金井市公立保育園運営協議会視察記録をごらんください。

本資料につきましては前回の委員会で一定確認し、別紙の部分について委員からのコメント等の欄について若干の修文を加えて、わらしこ保育園に内容の点検をお願いして確認をとったものです。

若干記録の本体とか、あるいは別紙の意見等について誤字とか脱字とかあるかもしれないんですけども、そちらについては公開に際しましてこちらのほうで再度点検をして見直し、修文をしたいと考えてございます。

説明については以上です。

○佐久間委員長 説明が終わりましたが、何か意見……。

○保育課長 もうちょっと補足。

○佐久間委員長 してください。

○保育課長 今回大きく変わっているといえますか、前回と随分違うところとしましては別紙のほうですね。別紙のほうで、近い意見、同じような内容、給食に関するものとかそういう

のについては大体まとめた、前後するような形で並べかえておりますので、検討協議会の中での発言順とかそういう形にはなっておりません。また、保育内容とかクラスの区分ごとに分類して分けているという形にもなっておりません。

それから、例えば具体的に言うと、例えば前回お風呂があったというところ、そういったところ、別紙の3ページ目の下から2段目、例えば「0、1・2歳、幼児のクラスの3カ所に木製のお風呂が設置されていた」というふうに見直しています。こちらについては、前回たしか各クラスにお風呂があったというような記載だけだったんですけども、わらしこ保育園さんのほうにお願いをしてちょっと内容の点検をお願いした際にご指摘があった部分という形で直しています。

それから、あとおもちゃがほとんどないというような記載があったところではありますが、実はこれは別紙の2ページ目の上から2段目、こちらも向こうのほうからのご指摘をいただきまして、積み木、ままごと道具などがあるけれども、おもちゃは全くないみたいな書き方を削除させていただきました。「子どもたちがそれぞれ工夫で遊んでいた」などという形で、ちょっと事務局のほうで補足をした内容で、あとわらしこさんのほうとすり合わせをした内容となっています。

説明については以上です。

○三橋委員長 あれですね、もし何かこれ自分が言った発言の趣旨と違う。例えば、事実はこちらだとしても何か内容的に、要は遊具があったのかもしれないけども遊具に頼ってないで遊んだということが言いたいんだということであれば、あくまでもこれは委員からのコメントのところなので、事実と感想とはまたちょっと違ってる。違った上でその印象を話すということでも全然それは構わないとは思っているので、そこは趣旨なり整理なり、逆に外すなら外しちゃってもいいかなというところだと思いますし、ちょっともう一回自分で発言されたところを読んでいただいて、特に問題なければ、誤解とかいうのはもうこれでないということだと思いますので、こういう内容で整理したいということかなと思います。

○佐久間委員長 これ最終的にページを入れるほうが。

○保育課長 入れます。

○佐久間委員長 すみません、ちょっとわかりづらかったので。

○三橋委員長 今ぱっと見て、これ今もらって出たばかりですもんね。

○三橋委員長 そうです。僕もまだ全然イメージが読めてないんで、ちょっとなかなか持ち帰って宿

題って大体皆さんやる余裕はないなというようなどころがあるんですけど。

○保育課長 電話でも結構ですので、ちょっとここを見直してほしいとか、この表現はおかしいとかそういう指摘があればお聞かせいただければと思います。

○三橋委員長 ほか何か、今、大きいところはそれくらいですか。

○保育課長 そうですね。

○三橋委員長 そんなに大きく直してはいないなというふうに思っているんですけど。

○保育課長 そうですね。2ページ目の上から4つ目の名前を漢字でというところがありました。これ加えさせていただいたのは、これはわらしこさんからの指摘なんですけども、趣旨としては子どもの名前に込められた思いを大切にすることがあるということも説明してたので、ぜひ。

○三橋委員長 そういうことも言ってましたね。僕もそれは思いました。

○保育課長 加えています。

それから、あと最後のページの体制で一番上ですけど、職員室の隣の奥に先生用のシャワーがあっただけの記述でしたが、「先生も児童と一緒に泥んこになって遊ぶということもあるためか」というのを加えたりとか、そういう部分を加えています。

○三橋委員長 このほうが読みやすくなってる部分に関しては、趣旨が変わってなければあれですよ。

○保育課長 大抵ちょっと違うといえますか、細かくなったところについては別紙の3ページ目の真ん中あたりの給食の乳児クラスのところですけども、全部配膳されてから食べているが、配膳された順に食べていただくというところ、幼児は全部配膳をしているということが向こうのほうから指摘として入っているところです。というくらいですかね。

あとは例えば中庭というのを裏庭にしたりとか、そういう細かなところは幾つかありますけれども、1カ所としてはそこら辺です。

○佐久間委員長 すみません、体裁として、一つはこの一番上の区分、クラスと委員からのコメント等のところが次のページから表題がなくなっているの、そこはすみませんがつけ足していただくことと、前回区分についてはカテゴリーごとにみたいなお話があったと思うんですけど。

○保育課長 それは、わかりやすくするためにコメントの内容によってご説明したようにまとめたんですね。それが例えばクラスごとに分けるのいいのか、保育内容とかその他とかという区分ごとに丸めちゃったほうがいいのか、それはあったと思うんですけど、大体ま

とまっていたほうが見やすいかなと思ってこういう体裁にしております。

○佐久間委員長 ごめんなさい、コメントの内容を重視したという、そういうことですか。

○保育課長 そうです。

○佐久間委員長 わかりました。そういう意図ということなんですけれども、こういう体裁でいいかどうかというところなんですけど、特に問題ありませんか。

あとは今申し上げたご自分で発言した部分について、ご自分の意図と違うというようなことがあればお話しいただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

○三橋委員長 よろしいですかね、もしあれだったらこれ2月5日ぐらいまでは待ちますけど、多分今発言聞いてこれを見て大丈夫だったら大丈夫かなという意味では、別に並べ方もこれでもそんなに違和感はないかなと個人的には思いましたけど、何かありましたら、大丈夫ですか。

○本多委員 細かいこと、さっきの漢字のことなんですけど、名前のことなんですけれども、ちょっと「平仮名の学習は」からの部分を後ろに持って行って、「全部漢字で書いてあったが、子どもの名前に込められた思いを大切に」というのを先にさせていただいたほうがちょっと意味がわかりやすいかなと。

○保育課長 じゃ「平仮名の学習は」から「ことであった」までを一番後ろに持っていく。

○本多委員 そうです。

○保育課長 はい。

○佐久間委員長 今、本多委員のほうからご意見ございましたが、ほかにございますか。もし今、三橋委員長がおっしゃったようにちょっとまだ時間がありますので、もう一度見ていただいて、これだけはこのようにすることがもしあれば保育課長のほうにご連絡いただきたいと思います。よろしいでしょうか。

それでは、申しわけありませんがこの件については小金井市公立保育園運営協議会視察記録として、今のところはこの状況ですが、必要があれば修正について保育課長のほうに集中していただくということで、本日のところはご理解をいただきたいと思います。よろしく願いいたします。

○三橋委員長 あとは一任いただいて、公開して問題ないですよ、特にもうこれで。

○佐久間委員長 よろしいですか。

○三橋委員長 じゃそれで。

○佐久間委員長 ありがとうございます。

それでは、わらしこ保育園視察については終了といたします。

次に、議事の(4)保護者の求める保育ニーズについてを議題といたします。

資料説明をお願いいたします。

○保育課長 保育課長です。

今回資料115、平成27年度公立保育園の運営に関するアンケート調査の概要を配付させていただいております。失礼しました、概要3ですね。申しわけありません。

○佐久間委員長 もう一回言ってくれる、概要3のところ。

○保育課長 資料115、概要2というふうに今回配っております。それを3で修正のほうをお願いいたします。

内容につきましては、前回の会議でいただいた意見を一定反映させたものであります。中身については、ごらんをいただきたいと思います。

今回確定等できましたら、体裁といいますか、ポイントのご指摘現在いただきましたけども、そういうのについても工夫をしてみたいというふうに考えてございます。

それから、本日お配りしている協議会の次第のほう、スラッシュで議事の(4)のところ、平成27年度小金井市公立保育園父母の会からの意見・要望等についてということで、前回資料を配付させていただいている件ですけども、このこともあわせて今回ご質疑等をいただければと思っております。

説明については以上です。

○三橋委員長 僕のほうからですけど、前回の指摘を受けまして体裁とかそういうところについてはちょっと僕のほうも余り時間とれなかったとかそこまでそういうのができなかったんですけど、まずは全体評価に対する理由とか満足と余り満足してないの分量どうだとか、あるいは満足してるところに不満が入ったりとかというところがあったりとかしたので、そういうところをちょっと整理をして、あとはもう一回僕のほうも今回いろいろと資料というか報告書をまとめていくに当たりアンケートが基本なので、一応二、三回読み直してここに書く。それが報告書につながるようなことということも踏まえながら手を入れてきました。

同じような意見は1個にしていますけど、もうそれを原文そのままというよりは若干途中で切ったりとか語尾をちょっと調整したりとかというところなどは一部あります。また、より具体的な内容になるほうがアンケートとしてはいいかなとか思ったりしましたんで、そういうところを中心にもう一回提出し直したりとかをしています。

その上で、真ん中のほうはそれほど変わっていませんが、一番最初のところ、この設問1の全体評価に対する意見等、最後のほうの設問4あたり、ここがかなり変わっているかなと思います。

あと、ちょっと個人的に悩んだところは、保育ニーズの設問2については1位、2位、3位のみしかちょっとないので、4位以降は確かにこれ書き出すと切りがないところだったんで、そのとおりの形になっているところなんで、ちょっとこのあたり若干補足、アンケートの代表的な意見、記述にないまでもちょっと補足を入れてもよかったかなというところはちょっと思いましたけど、それくらいですね。あとはボリューム的にはもうこれ9ページにもなってますのでこれぐらいが限界だし、もっと減らしてもいいかなというところがあるくらいですけど、前回ちょっとこういったこれくらいはという話もありましたので、一応これで読んでいただければどうかというところかなと思いますが、皆さんのほうでさらに改善すべき点とかがあれば言っていただいて、なければ本当最後体裁のところまで整えてもらえればいいかな。

あと、これ読んで思ったんですけど、やっぱり大もとのこっちの分厚いほうの資料がまだまだ全然読みづらくて、すごい読みづらくて、誤字脱字ももちろんですけど重複しているやつもあるし、あとは分け方がやっぱり園ごとに分けるというよりは、どっちかという園の情報は補足として横についてるぐらいな感じ。なくてもいいぐらいな感じで、場合によっては横についてるぐらいな感じで内容を重視して、だから園ごとに分かれてっちゃうと一回せつかく読んでいってるのにまた園ごとに切れていっちゃうんで、5園全体の、自分の園だけ見るんだったらこのほうが見やすいかもしれませんが、5園全体の報告書という観点からいうと、園ごとに分けるよりは園の情報というのは補足でまずは全体的にさっと読めるような形にしといたほうがいいかなとか、あるいは満足とか不満足というのも理由のところはそういうふうに分ける必要があるんですけど、その他の記述に関してはあえて分ける必要はないんじゃないかなとか、ちょっと読んでて改めて幾つかあったんで、こっちの大もとのほうは、これはもう公開してるんですけど。

○保育課長      その状況で公開しちゃってるんで、直したいとは思っています。

○三橋委員長      わかりました。じゃそれはちょっともう一回直したほうが、僕もちょっと後で読み返したときに読みやすいなという感じを改めて思いました。

概要がもしまとまるのであれば、次回の2月13日のときなんかにもこれ使いたいな



というちょっと思いは、せっかくのアンケートだったりするので思ったりするので、もしちょっとそういった目で今言っていたけるといいかなと思ったりはするんですけど。

- 佐久間委員長 ご意見等はございますでしょうか。
- 東海林委員 単純なことでもいい。
- 三橋委員長 そうですね、結構ありますね。
- 東海林委員 あくまでも参考までにという趣旨なんですけど、後ろから2枚目の一番下の3行の頭、市外の病児・病後児保育「異説」、後ろから2枚目のグラフの下の。
- 三橋委員長 本当だ。
- 佐久間委員長 ちょっと気になったのが、目いっぱい書いてあるので、今みたいに穴をあけてしまうと文字が消えちゃうんですね。
- 三橋委員長 体裁の中で。
- 佐久間委員長 大丈夫ですかね。それもちよっとすみませんが確認をお願いします。これはページは入るんでしょうか。
- 保育課長 入れます。
- 佐久間委員長 すみません、ではページを入れていただいて、あと体裁の中で修正をしていただくことで、今、東海林委員のほうからご指摘いただいた誤字については修正をいたします。ほかに。
- 本多委員 ちょっと2点あるんですけども、設問1の全体評価のグラフでパーセンテージが上には入ってこないんですけど、これは上に入っているのは人数ということですよ。パーセンテージが下で合わせて95%というのはわかるんですけど。
- 三橋委員長 パーセント入れますかね。
- 本多委員 そうですね、①②③④がどれが何%というのがちょっと。
- 保育課長 グラフのほうに。
- 本多委員 そうですね、グラフのほうにあったほうがいいかなというのと、あともう1点、設問2の保育ニーズについてのグラフで、これ上から多い順になってるんですよ。HとAが何かグラフ的にちょっとサイズが違うんですけど、これは、何かどっちが正解なのかなという感じなんですけど。
- 保育課長 ちょっと見てみます。
- 佐久間委員長 ありがとうございます。グラフの最初のほうはパーセンテージを入れるということですが、設問2の保育ニ-

ズについてのグラフについてはちょっと確認をさせていただくということで、お願いします。

ほかに修正等ございますでしょうか。

じゃ申しわけないんですが、一応ほかのちょっと出てきた誤字だとかそういったものについては改めて確認をさせていただきます。今出された修正も含め委員長のほうに一任いただくということで、アンケートの結果についてはよろしいでしょうか。

どうぞ。

○細部委員 すみません、わかたけの細部です。

ページでいくと3ページ目に当たるところだと思うんですけども、黒の四角で(2)その他保育内容に関するってあるこの(2)の(1)に該当するものがないので、このナンバリングは何だろうとちょっと思ってしまったんですけども。

○保育課長 それでいうと……。

○細部委員 設問と対応している感じですか。

○保育課長 そうですね、設問がこれ全体がその前が全部(1)なんですよね。それがわかるような感じにする必要はありますね。

○細部委員 そうですね、何か対応する(1)があるか、(2)を消すとかあったほうが良いと思います。

○佐久間委員長 細部委員、今のでいいですか。

○細部委員 はい。

○佐久間委員長 わかりました。ありがとうございます。じゃ対応するその(1)がないということでございますので、一定整理をさせていただきたいと思います。

○三橋委員長 それで言うと、いきなり1-Cになってるんですよね、この全体評価に対する理由というのが。

○佐久間委員長 そうですね。

○三橋委員長 だからBとかAとかというところはあるわけでないんで、この概要という観点でいうと、ちょっとそういうのがわかりにくければむしろ外しちゃったほうが良いかもしれないですね。

○佐久間委員長 そうですね。よろしいでしょうか。

じゃ今出していただきました修正等につきましては委員長に一任いただけるということで、このアンケート結果の概要として確定をさせていただきたいと思います。

以上で保護者の求める保育ニーズについてを終了いたします。

次に議事(5)保育の質についてを議題といたします。

資料説明をお願いいたします。

○小方委員 小金井の小方です。

116の「公立保育園の行事の経過と取り組み～「運動会」から『プレイデー』へ～」というのをごらんください。

前回、杉山さんのほうから乳児と行事ということでお話しさせていただきました。今回はその補足として、運動会からプレイデーへこんなふうに移行してきたんだという説明を加えさせていただきます。

この文章の中にもあるんですが、プレイデーについては各園特徴あるんですけども、大事にしてきたこと、運動会から移行したことについて5園で共通しているということで取り上げました。

小金井保育園では、毎月保護者の皆さんと職員とで小金井交流会という懇談会を行っていて、ちょうど運協のアンケートについて情報交換を12月にしました。行事の話も少し出て、ちょうどその後の園だよりで何件か意見があったプレイデーについてお話しさせていただいたので、そこから引っ張り出して資料に膨らませてみました。八下田さんと寺地さんは重複するかと思うんですけども、先輩方の話とか自分の遠い記憶とか昭和50年代の卒園アルバムをひっくり返して作成しました。読ませていただきます。

万国旗が飾られ「天国と地獄」や「道化師のギャロップ」の曲が流れ、取り合いで大変な応援席にはシートが敷き詰められ、入場門と退場門がそびえ立ち、紅白の帽子をかぶった子どもたちとホイッスルを首から提げた保育士と。きちんと整列し、出番を待っている間もちゃんと座ってほかのクラスの応援もして、駆けっこがあって、目いっぱい頑張ったらメダルやおみやげがあって。運動会のイメージってこんな感じでしょうか。大人たちはきっと子どものころそんな運動会を経験してきて、いろんな思い出とともに今でも胸に刻まれているのだと思います。

その昔は、小金井市の公立保育園にも大運動会があって万国旗が飾られ、入場行進から始まりというイメージのものを行っていました。応援席にはロープが張られ、朝早く場所取りに来る家族もいました。幼児は何週間もかけて競技やお遊戯、体操や応援合戦の練習をし、きちんと行進したり真っすぐ並んだり、ホイッスルでそろって動いたりする練習も重要なことでした。ふだんの保育というより見に来てくれる方たちの期待と声援に応えようという種目が多く、頑張って練習して成果をお見せしようと四、五歳ごろ

のマスゲームや太鼓躍りなど、大運動会なのでとにかく毎日一生懸命練習しました。年長クラスの子どもたちは司会や用具係、応援団等もあって、競技の練習のほかさらに準備を重ねていました。入退場門をつくり、進行や競技説明のせりふを覚え、年長らしさを前面に出して拍手を浴びていました。組体操の種目あり、リレーでは鉢巻きを巻いて一人2周ずつ走っていたこともありました。

大運動会らしく、当時は乳児クラスも全員参加でした。いつもと違う光景に泣き出すゼロ歳児の赤ちゃん、大勢の観衆の大歓声の中、自分のお母さん目指して用意ドン、泣きじゃくって動けなかったり担任にしがみついている赤ちゃんを、はいはいやよちよち歩きでゴールするまで盛大な拍手で応援します。泣いてても何でもいいからそのかわいい姿を見たくて、赤ちゃんが出ているだけでとにかくかわいい。1歳児になるとお母さんにゴールするまで障がい物があらわれたり、ゴールした後お母さんと一緒に走ったり、さらにハードルが上がります。泣いてものけぞってもそのしぐさがまたかわいくて大歓声。2歳児クラスになると、親から離れて音楽に合わせて踊ったり動物になり切ったり、こういう場面が大好きな子もいて、拍手を浴びたりするけど、どきどきして怖くてずっと泣いて担任のだっこからおりられない子もいました。

いつもと違う生活、広い場所、大きな音や声、お母さんがいるけど離れて頑張らなきゃいけない不安と混乱と緊張と、大きいクラスならまだしも、乳児の子どもたちにとっては運動会の意味も目標もわからない。でもとにかく運動会、応援に来てくれた皆さんにきちんとしたものをお見せしようという気持ちで取り組んできました。

しかし、本当にこれでいいのか。泣いている赤ちゃんはどんな思いでいるんだろう。安心した毎日の繰り返しや散歩や外遊びを削ってでも、みんなで練習することが一番大事なことなのか。子どもにとって、この緊張感や特別感が必要なことなのか。一人一人のこの気持ちややりたいことに大人はちゃんと寄り添えているかな。私たちは子どもの何を育てたくて保育しているんだろう。行事って一体何なんだろう。一体誰のためのものなんだろう。私たちのずっと前の先輩たちがそう思い始めたのが、今から30年以上も前のこと。そしてそこから毎年のように、プレイデーだけでなくいろいろな行事や活動を見直していきました。乳児期の安定した生活と愛着関係を築いていくことの重要性、一人一人の子が尊重され大切にされる保育の必要性をいつも基本にして。

行事は毎日の保育の中の一つの通過点。保護者の皆さんに喜んでもらえるようきちんと美しくお見せしたり、日々の保育とかけ離れた空気や緊張に耐えるために練習を重ね

たりするのが狙いではありません。

保育園にはいろんな子がいる。みんな違う一人一人が育っていく場所。一人一人が大事にされて、だんだん仲間になって、一緒に遊んで、けんかして、認め合って、わかり合って、そうやって根っこから一つ一つ社会で生きていくための自分の人生を生き抜くための欠かせない力とスキルを手に入れていく。保育園時代はまだその長い人生のほんの根っこだけど、これからいろんな人とかかわったり難しい勉強をしたり苦手なことを克服したり夢に向かって努力したりしていくための大事な土台をつくっていく6年間。だから何でもないように見える毎日の暮らしがすごく大事。その毎日の中にまさに乳児クラスはその根っこづくりが入っていて、信頼できる大人と一緒に過ごす中で安心して個性を発揮しながら愛されて認められてを繰り返す、自分の存在と力を揺るぎないものにしていきます。

そしてそれを経て幼児クラスになると、少しずついつもと違う中でも自分の力を発揮したり、それに向けて仲間と準備をする中でお互いを認め合ったり、目標に向かって仲間と一緒に頑張ったり、やり遂げた達成感から自信と思いやりを手に入れたりできるようになっていくのです。

行事はその日だけのイベントではないけれど、そうやって成長が見えたり自信がいたりするワンシーンになったりします。何を狙いとして取り組むか、その取り組みの中で子どもたちが自分の力でつくり上げたり楽しんだり乗り越えたりしていけるように保育士は年間を通してプランを立て、行事が一人一人のそのチャンスになっていくように長いスパンで考えていきます。

学校に行くと、長い時間座ったり練習が集中して行われたり競争や勝ち負けがあったりするのに、これじゃ心配という方もいるかもしれません。でも保育園は学校に行くための練習の場ではなく、学校の行ってからたくさんのかんことを吸収して自分を高めていけるように、その土台の根っこを確かなものにしていくところ。イベントだけでなく、毎日がその子のステージです。

そして、やっぱり保育園の真ん中は子ども。子どもたちが伸び伸びと過ごせて自分でできることがふえて友達と一緒に力を発揮できて、大きくなっていく子どもたちのそういう姿を保護者の皆さんと喜び合える、分かち合える保育園でありたいと思っています。

保育に関する基本的な理念や目標、今までの長い歴史の中で培ってきたものや私たちが大事にしていることなど、公立5園の中では勉強会や情報交換、職員同士の異動など

により引き継がれていてそれほど大きな違いはありませんが、行事については内容や狙いが園ごとで異なるところがあります。どこまでが行事のくくりなのか、どんなふうに取り組むのか、行事の種類も多少違ってきます。前年度の反省を踏まえたりその年の子どもたちの興味や伸ばしたいところを考慮したりするので、去年とやり方が違うのねと感じることもあるかもしれません。だからこそ日々の保育について保護者の皆様にもっと伝えていく必要があり、そこを基本としたさまざまな活動や一つ一つの行事の狙いや取り組みについて理解していただけるよう努力していかなければと思いました。

プレイデーについては、各園特徴があるもののどのようなことを大事にして運動会から移行してきたか5園で共通しているのも、前回の乳児と行事の資料の補足として説明させていただきました。

プレイデーは、親子で一緒に体を動かして楽しく遊ぼうというのがコンセプト。幼児クラス対象で、内容は運動会ではないのでふだんの保育の活動で楽しんでいる体育遊びやわらべ歌、ゲーム等が中心で、場所によっては自然の中で楽しむ親子ゲームや兄弟の小さい子や小学生が参加できる種目、年長クラスのリレーなどが加わります。プレイデー物足りないなと思う方もいらっしゃると思いますが、親から離れてふだん仲間とこんなふうにご一緒しているんだな、大好きな母さん父さんと一緒だとこんな笑顔になるんだな。きょうのこの姿は毎日の中の一時間で、きのうより前とあしたから先とずっとつながっているんだな。そんな思いで参加していただけると、我が子と一緒に大きくなって子どもたちの成長にきっと出会えると思います。

運協の資料としては拙い文章で申しわけありません。以上です。

○佐久間委員長 ありがとうございます。資料もおつくりいただきありがとうございます。

また、感情を込めて読んでいただいたんですが、・・・・の中に入ってきて非常にわかりやすかったと思います。

今、内容を読んでいただいたんですけども、何かご質問とかございましたらお願いします。

○八下田委員 小金井、八下田です。

この内容、小金井保育園の園だよりでもこれよりもっと小さい字でA4に出して最初びっくりしたんですけど、いつ読むんだろうみたいな。小方さんのすごい熱い思いが伝わって、あと小金井がこういう経過で来たということもよくわかって、すごく私も感動した内容でした。

運動会じゃなくてプレイデーということと、乳児はやらず幼児だけというのはふだんの散歩や外遊びを削ってまでやる必要ないからということとは理解していました。それ以上にこれだけの熱い思いと今までの経過があるということを知って、すごくいい資料だなと感じました。

先ほどの五園連のアンケート結果にもあったんですけども、やはり満足していない意見が毎年あります。保護者が参観できる行事が少ないとかお遊戯会、運動会がないという意見が今年だけでなく去年もありました。こういう意見をお持ちの保護者の方にも、こういう思いがあつてそうしてるんだよということを知ってもらうためにも、この資料はとっても熱い思いが伝わる資料になってると思います。小金井保育園とこの場だけでなく5園全体で配布するなり説明するなりして、こういう思いの保護者の方にも届けばいいなと今思いました。以上です。

○佐久間委員長 ありがとうございます。これに関して、感想を述べていただきました。ありがとうございます。

ほかにご意見、ご質問等ございますでしょうか。

細部さん、どうぞ。

○細部委員 わかたけの細部です。

今のと同じような感じなんですけれど、これは今後、前回の保育と行事も含め何か今後保護者に展開していくとかいうことは何か計画はあるんでしょうか。特にはないですね。私も保育園に入ったときにプレイデーで何だろうって年間予定表を見て思っていて、全然わからないまま幼児クラスまでいって初めて、あ、運動会みたいなものだったんだというのがわかったんですけど、結構中にいてもこれがどういうものがよくわからない人っていると思うんですね。イベントがないというふうには不満に思われる方もいるというのを考えると、前回の資料とかこういった資料を、これはこれでとってもいい文章ですし、年度の最初の行事の年間公表があったところに少し、保育園に入ったときにこんな趣旨で年間の行事がありますよ。運動会からプレイデーというふうには、プレイデーってこんなものですよというのをもうちょっとまとめたものを全家庭と一緒に配布されるとわかりやすいかなというふうには感じました。以上です。

○佐久間委員長 今のご意見に、いかがでしょうか。

○八下田委員 追加でいいですか。八下田ですけど、保護者のほうでお遊戯会、運動会がないから不満という意見に対しては、先生たちはいつもどおりの散歩とか遊びしかしない手で抜

いているよねとか、運動会っていうのはそれなりに準備とか企画が必要だから、わざとやってないんじゃないのという意見もあるので、それに対して言いわけをしたいとか弁解をしたいとか、違うところに重点を置いてるんだということをおわらないですか。弁解というか、こういう熱い文章をもうここだけじゃなくて全員に配って説明したいというふうに思わないですか。

○小方委員　　思います。思うというか、やっぱり伝えてるつもりと思っていたり、こういう経過についても過去に話したこともあったかなとか、やっぱりそういうところでとまっていたところが多かったかなというのを今回すごく反省して、やっぱり毎年新しい人が入ってくるし、いっぱい細かいことについての説明ってどうしても抜けてて、さっき言った年間行事も本当4月につくりかえようと思っているんですけども、全然おもしろくないんです、よく見ると。行事についての説明が1行ずつ載ってるんですが、これじゃさっぱりわからないというような感じに載ってたことにやっぱりよく見てみると気がついたりして、伝えていく必要があるなって思います。劇場についてとかも、来月語ろうと思います。

○八下田委員　　先生、今おっしゃったみたいに、毎年人がかわるから毎年配るぐらいのこともいいのかと思いますね。

　　満足のほうの意見では、大人の都合や親へのアピールのための行事や作品づくりは要らないという方もいらっしゃるんで、いろいろな意見があるとは思んですけど、先生たちが重要視していることがそこまで伝わらない保護者もいるので、この熱い思いの分量のこの文章をそのまま配ったり、園の説明会で説明したりしてもいいんじゃないかなと思います。感想ですけど以上です。

○三橋委員長　　あれですよ、一応各園ごとに先生方のほうでそういった行事のところをちょっと入れていただいたりとか、わかたけはわかたけでプレイデーの前に1ページぐらい、2ページぐらいでしたっけ。1ページですよ。あれも結構熱い文章だったなと僕はいつも思っていますけれども、そういうのがちょっと出たりとかというのは前も話したとおりですし、あとはだから今回この運営協議会としてもしまとめられるのであれば、これを全文を資料という形でつけるのがいいのか。それだったら一番誤解がないかなということをお思いますけど、そういう中でどういうふうにポイントを抽出するかということかなと思います。

　　ただ、正直言ってこういうのって答えはないんですよ。だから熱く語るの大事だけれ



ども、熱く語り過ぎても多分父母の中でやっぱり教育的なところがやってほしいというふうに、こうなるとなかなかそれはそれであるので、そこはやっぱり先生方百戦錬磨なので、今までそういう方とも対応しながら。どっちがいいとかというよりは、やっぱりこれが小金井の保育の特徴なんだということなのかなと思ったりします。

前もちょっと師岡先生という検討協議会の先生の発言を言いましたけれども、やっぱり子どもがみずからの自発的な力で生きる力を養っているの、それでその中で日常生活の中でやっぱり思い切り体を動かしたりとか思い切り自分のやりたいことをやるということが、それが最終的には1年生、2年生のところでは学校教育的なこととかそういった運動会とかそういうのをやってれば、そういうことに対してのキャッチアップって当然されているわけだから早いけれども、それが3年、4年とか5年、6年とかとなっていくとどんどんどんどんそれは差がなくなってって、むしろ高学年になっていけばそういった生活してきた子のほうが伸び代があったりとかという話はされていた。

ちょっとそれが研究というか体系的に子ども、言っちゃ悪いですけどそういったサンプルにとって実験してみたいなことがどこまでされてて、どういうふうに本当にこういう形で学術的にオーソライズされたかわかりませんが、学識の方がそういうことを言われてたりするんでというところがありますし、この中の文章でも幾つか僕はポイントがあるなと思いますし、例えば後半のところでも学校へ行ってからたくさんのことを吸収して自分を高めていけるように、その土台の根っこを確かなものにしていくということで、イベントだけでなく毎日がそのステージだということとか、あるいは先生方にも問いかけていますけど、どこまでが行事のくくりなのか、どんなふうに取り組むのか。行事の種類も多少違ってくるところなので、やっぱりこういったところというのが問いかけとして常にあり、多分これも答えはないと思うんですね。どこまでが日常でどこまでが行事なのかというのも、やっぱりそれはそのときその年なりのやり方によっても違ったりするんじゃないかなと思ったりするので、がちがちに理屈でできるような話でもないんじゃないかなというふうには思ったりする一方で、多分そこでそういうふうに思いが逆にあるとそういったところがもうちょっと理論的に整理されないと、ふわっとしたような感じだと、そういった考え方があってそれはそれで理解できるけれども、一方でやっぱり学校へ行ってみんな集団でやって、そういった中でやっぱりストレスかけられるのも事実なんで、ストレスかけられるような生活をするのをできるだけ早く体験させたほうがいいんじゃないかというふうに考えるのとどっちが正しいのかというの

は、ふだん本当にもう我々父母一人一人がどうのこうの考えというか、自分の子どもに対してどうするかというところなり自分の考えはあったにしても、それを押しつけたりするというのはなかなか難しいところがあったりするなと思うので、これはこういったところで皆さんと同じ意見持ちはいるんですけど、それをいかにうまく伝えていくかというところはまたこれはこれで一つの課題だし、少なくともこういったことをやってるんだということを発信していくことは大事なのかなというふうには思います。

○前島委員　　くりのみ保育園の前島です。

前回の役員会に、東海林さんと本多さんがコピーして役員さんに配ってくださったんですね。そういうところが一番伝えたいところですよと言ってくくださったので、なかなか全員の方に配布ってかなりの量になるので、保育の質に関してはちょっと抜き出してファイルをして、ほとんど絵本コーナーに大人が閲覧できる貸し出しというか、形で保育園でできるといいなというのがあるので、一応その予定です。

○三橋委員長　　そういうのだとやっぱりいいですね。5園で見たりとかこういうのができたりしたら。

○本多委員　　さっきのちょっと補足なんですけど、父母会のニュースでも今回はその乳児の行水に関しての部分はちょっとそこだけ字を太くして、そこだけでも読んでもらえるようにという形でちょっと皆さんにわかっていただきたいなと思って私たちも思っています。

○三橋委員長　　なるほど。僕、ほかの父母会の中で発言はしたので、あとはちょっと今父母会日誌まとめる段階なので、ちょっとそういったところを何とかというのはちょっとやりたい。今まさにまとめているようなちょうどタイミングですね。

○保育課長　　ちょっと聞いていいですか。ここのご質問しちゃ本当はいけないかもしれないけど。

○三橋委員長　　いや、そんなことないです。

○保育課長　　30数年ぐらい前から運動会やったのを、職員みんなで見直しながらこういう形にまとまってきたわけですよ。毎年毎年行っていく中でも日々見直しをしてるのかなというふうに思ってるんですけども、そういった中で一方教育的な部分もちょっと出してよとか、運動会的な要素をもっと欲しいねみたいな保護者の声もあって、これも踏まえて見直ししていくんだろうなと思ってるんですけども、今後プレイデーどうやっていこうかなというのは何となくイメージされているのでしょうか。今のまま基本は維持してずっといくのか、それとももっと見直して何かさらに違う形、望ましい形が何か自分たちの中でイメージとしてあって、そこを目指していこうと考えているのか。そこら辺はどうですかね、ちょっと漠然とした質問で申しわけないですけど。今のがいいや、これが

いいやという感じで、細かいいろんな修正をしつつ維持していこうというのか。もっと運動会やってたときを見直していこうよという気迫というですかね、気構えですかね、そういうのと同じようにプレイデーをもっと見直していこうよという意識はあるのかなということを書いてみたいところです。

○小方委員　多分、基本的なところは急に教育的なほうに走ろうとかいうふうにはならないとは思わんだけれども、やっぱりプレイデーも各園あらわれ方としてはそれぞれ特徴があって違うんですね。その中で毎年毎年反省して、じゃ来年はこうしようというふうに進化しているつもりではいます。

○保育課長　少しずつ進化しながらとりあえず進んでいこうという感じで、運動会的なものをやめたときみたいに競争とかそういうのはやめようよ、乳児もいるよね、やめようよというふうな大きな変化はない。とりあえず今のところ想定されていないという感じですかね。例えば、ほかの自治体で何かまた違った取り組みしてるなんていうのを聞いたことはないですか。

○小方委員　いや、何か期待しているものとかありますか。例えばこんなものとか。

○保育課長　ただ、プレイデーって幼児のイベントじゃないですか。前の運動会は乳児も入っているいろんな意見もあって見直してきたけど、幼児の保護者の中にもきっと運動会的ではないイベントというんですかね、体を動かすイベントを欲している部分があるんじゃないかなというのがアンケートの結果なんかからも何となく推測されるので、例えばプレイデーの中に乳児も入れていく、一部入っている部分はあるかもしれないけど、何かそこら辺ちょっと拡大とか見直しとかというのはしていく道はないのかなという気がしますけど。

○三橋委員長　いや、今でも課長の質問はあれですよ、先生方なんで。ただ、僕もちょっと今思い浮かべたんで。

○保育課長　体動かす部分じゃなくてもね、イベントとして何か保護者のほうが欲しているものがあるのかなという気がするんですけど。

○福野委員　さくらの福野ですけども、行事一つ一つとって何を子どもを伸ばしていきたいか、何を大切にしたいかというところで職員で話し合っ、こういう目的でじゃこういう行事にプレイデーも子どもが楽しめる、親子で楽しめる内容にしていこうというところで、それを保護者の皆さんに理解してもらえるように趣旨とかを説明するんですけども、やっぱりアンケートをとってみるともっと練習を重ねた見ごたえのあるもの、お遊戯みた

いじゃないですけど、そういうものを作ってほしいとか、やっぱり運動会を作ってほしいという意見はあるんですけども、ただ、私たちの思いもありますし保護者の思いもありますから、そこで敵対するんじゃないかってやっぱり保護者の思いも酌みながら、ただ私たちが自分たちの考えを押しつけるんでもなく、やっぱりそこは今回みたいなこういう説明を積み重ねていく中で子どもにとってどういう行事がいいのかというところを話し合える場が必要だなと思うんですけども、なかなか懇談会だけでは、今の子どもたちの成長とこれからの取り組みとおうちでの悩み事とかを話してるだけで終わってしまうというところで、小金井は小金井でさっき言った小金井交流会で、さくらはさくらで茶話会というふうにしてクラスを越えた懇談会みたいな感じでやっているんですけども、なかなかさくらは出席がふえない。やっぱりふだんの生活をしている中で、なかなかそういう出ていく余裕がないのかななんて思いながらも、やっぱりこういうふう私たちに思いをアピールして保護者が率直な思いを出してもらって、そこでやっぱり子どもを中心にしてどういう行事にしていこうかという話をしていくことが大切だと思ってます。ということを見ると、乳児の参加はないかなっていう。

○三橋委員長 委員長の僕が余りこういうまとめ的なことをばちつと言っちゃうのもあれなんですけど、乳児の話とかやっぱりマジョリティーな話でいうと、やっぱり知らないとかこういうのを聞いて初めて、ああ、こういうのがあったんだというのを、僕自身もこの乳児がそこまでそういう考え方があるというのはこの間聞いて初めて、ああ、これでイベントはないんだなとちょっと思ったくらいだったんで、やっぱりそれはそれでちょっと逆にそういった強い感動じゃないですけども、一種そういうもんなんだということを感じました。

一方で、ここにもきょうの副主題にもありますけど、親は子どもが何しろ晴れの舞台とかちよつとでも何かふだと違うようなところが見れると、それだけでわあって喜んじゃうわけですよ。それこそお宮参りの写真とかって、別に赤ん坊にあんなきれいな着物着させたって赤ん坊は何も思わないけど、むしろ着させたいというのが親のエゴですから、それと同じようなことをじゃ保育園に持ち込むのか、あるいはそういったことを保育園にお願いするのかというところの折り合いという話だと思いますよね。それこそ子どもを真ん中に置いて、じゃそこについては親がそういうふう思うところがあるかもしれないけれども、でもそれというのはやっぱりふだんの生活なりそういうのにちょっと支障があったりとかどうかというところであれば、やっぱりそういうものなん

だろうなとちょっと思ったりしますし、もちろんそういうのを求める人はいるかもしれないけども、大体マジョリティーは理解できる話じゃないかなというふうにちょっと個人的には思ったりします。保育園もいろんな人がいますので、全員が全員100%そうだというふうにはならないとは思いますが、大きな趣旨でいったら理解されるんじゃないかというふうに思います。

乳児、だから声は絶対毎年出ますよ。でも、それがじゃ多数意見なりなんなりというようになるようになったら、小金井のほうちょっとやっぱり時代が変わってきたということであって、今そういうような話ではないということじゃないかと思えます。

もっと言ってしまうと、さっきちょっと話して変える必要があるのかなのかというところというのは、今言った父母とかとかそういったところでマジョリティーの意見あるのかどうかということもありますけれども、やっぱりそういうものをやっぱり園の先生のほうから話なり園長先生のほうの文書の中で見てて、ああ、なるほどなと思ってこんなふうなのかと思ったのは、やっぱり今の社会環境とか時代背景としてやっぱり世知辛くって、親というとやっぱり時間がない中で、とにかく子どもに対して早くしろとか早く食べなさいとかちょっと何やってるのみみたいな感じで言うような、どうしても時間に追われてるような生活をするのが大きい中で、子どもにとってはいろいろとストレスがかかってるのがある。それが結局のところ子どもたちの人格に結構大きな影響を与えているところがあり、そういったのをできるだけ保育園では取り除いてあげて、家庭的で兄弟関係のような関係をつくりたい。やっぱりそういったような保育の基本的な考え方にあるということがやっぱり一番大きなところかなというところで、むしろじゃもっと緊張させて学校みたいにある程度大人になっていくために社会に適応するようなものやっぺいこうというところと、ふだんの生活の延長でやっぺいって、そういう中から教育的なところをやっぺいって行く。

決してふだんの生活をやっぺいしていることが教育じゃないところでなくて、情操教育とのかちょっとよくわかりませんが、そういったところが教育なんだというところが昔の園長先生も言われていたし、今でもそういった形のところは、すみません、園長さんからいろいろと教えていただいたりとかってちょっと思ったりもしたりするので、そういったところが理論的にも結構あつたりするなって、時代背景的なところもあつたりするなと思うので、そういうようなところが変わらない限りは保育園のそういう場になっていってもおかしくはないのかなとちょっと思ったりしたので、ちょっとやっぺい

伝え方なりどういうふうに説明するのかというのが特に難しいところがあったりするんですけど、それを短い文章でそれが伝わるようにするなり広くたくさんの方に一遍に理解してもらおうというのはなかなかちょっと大変なのかもしれないけども少しずつ口コミなり、また何かちょっとそういう話が出たときにこういう考え方があるよというところで、それがあと理解されるかどうかというところかなとちょっと思ったりします。

○東海林委員　　くりのみの東海林ですけど、できればというか可能であればというところなんですけど、こういった感じで非常に小金井の保育の特徴が浮き出てくるようなやっぱり資料だと思って、それで貸し出しというようなところで、この運協以外の父母に公開するというのはそれはそれで進めていってすごくいいことだと思うんですけど、この運協で多分今後いろいろな保育の質について同じような話があると思うんですけど、できれば一回こういう資料が出て、それについてみんなで今もいろんな意見が出ましたけど、話し合っていて終わりというところもちょっともったいないような気がするんですね。できれば今後別に期限を区切るとかということじゃなくて、いろんな意見とか、あるいは逆に今度は反論とかというのもあると思うので、どんどんどんどん入れていってまとめていって、随時校正していくような感じで項目ごとにこれが集まってくると、相当小金井の保育というのはどういう保育なのかというのが大分記録に残っていくと思うんですね。

できれば運協で話していくときというのもあくまでこれ土台で最初出して、どんどんこれを充実させていくというような取り組みというか、そういう協議の仕方っていうのがあってもいいのかなと思いました。

○三橋委員長　　この後の議題なんだけど、今度3月までに何とかまとめたと思って報告書のまとめ方にもちょっと関係してくる話だし、あとは4月以降にこれを引き継いでいったりとか、各園どうするかというところの話もあるのかなと思ったりはします。

この運営協議会の中がそれこそ総合的に見直したとか委託の話だとかそういう話をするだけの場ではなくて、先ほどから小金井保育の質だとか保育の中身とかというところをこうやって理解をして、それを伝えていくということですね。それはもちろん父母がまずありますけど、検討協議会の中で話としてあったのはそういったことを広く他園なり認証だとか民間のところとかという話もあったりするので、それをどういうふうに発信していくかというのは先ほど言った公立保育園の役割の一つとして大事なのかなとちょっと思ったりするので、それをまずはちょっと我々の中で理解するということがまず第一で、その後、どういうふうに発信していくかというところはまたちょっとご意見い

ただいて、ちょっとやれるところから一つずつ、また足元からですね。

部長、ありますか。

○佐久間委員長 前回、私が、これってシリーズ化するんですかという話をしたと思うんですけど、今回は運動会がブレイデーへということで、今のお話だと例えばこれが今2つ目だと思うんですが、それに肉づけをしていく。いろんな意見を出していただいて肉づけをしていって、よりよいものをつくって皆さんに伝えていくというような形にするのか。何か一つ一つその都度出していって、それをそのまま保護者の方に知らせていくのか。ちょっといろいろやり方があると思うんですよね。その辺をどうしようかなと、今、私も方向性を考えていました。

○三橋委員長 それをまさにちょっとこの後のちょっと話にしたいなと思うんで、じゃちょっと一回この議論が、そしたらそういう話をちょっとしたいかなと。特に保育の質のところはどういうふうにまとめるかというのは、僕もすごい悩ましいなということを思ったりしてるところなんで、本当、保育の質って何ですかって皆さん言われて、じゃ保育の質って何なのというふうに常に言われるんですよね。それをじゃどういうふうに伝えていくのかというのがそこにあるんですけど、どうですかね、ちょっとこれを踏まえてまずこれについてもうちよっとまだ言い足りないとか意見とかというのがもしあれば。よろしいですか。

じゃちょっと時間もあれなので、次の資料117の・・・・・・ということ。

○佐久間委員長 そうですね。報告書の骨子になりますよね。117だと。

○三橋委員長 そうですね、(6)の議題でいいですよ。

○佐久間委員長 そうですね。

○三橋委員長 いいですか。

○佐久間委員長 はい。

○三橋委員長 じゃすみません、(6)の議題に移って、本当はドラフトみたいな形で文章を事前にお示しできるくらいな形にしないといけないぐらいの時期なんですけど、まず骨子という形でやって、皆さんにちょっとご意見いただいて何とか次回ぐらいには一回ドラフトみたいな感じにしたいなと思ってるんですが、ページ数もどの程度まで書けるかってあるんですけど、運営協議会の報告書という形で、もうこれ2年以上ですよ。2年ちょっとという形になるんで、我々も任期が3月までというところもありますので、次の方に引き継いでいくという観点からも、ちょっと一回整理したいなというところは前から話し

ているとおりです。

かつこのタイミングで検討協議会があった。今まで公立保育園の役割とかなんとかと  
いったときに、父母の中だけでそういったことを話してもなかなか伝わらないところも  
あるかなとか思ったりもしたんですけど、検討協議会があって、先ほどみたいな役割と  
かいろいろと外部の目というのもビビッドに議論する中で伝わってきたところがありま  
すので、そういったところもうまく踏まえながらやっていきたいなとちょっと思ってい  
ます。

ですので「はじめに」はちょっと置いといたとして、まずこの報告書の中でやらなき  
ゃいけないかなと思ったのは、運営協議会って何ですかというところがいろんなところ  
から聞かれたりとか、あるいはどういうふうに我々議論しているのかというところ  
があったりするのです、目的ですとか発足の経緯、最初対市懇談会からやってたのを議  
論を少し積み上げていくような形にしたいということでメンバー固定の協議会というこ  
とで、ここのメンバー固定だというところが結構ポイントになったりとか、父母の中で  
よく使いますね。各園代表者で毎回毎回メンバー変えてもいいんじゃないかとかって  
いう話もよく出たりするので、市の協議会というところもあるのです。そういったところとか、  
あとは児童福祉審議会の答申との関係とあって児童福祉審議会の答申で運営形態の見直  
しをするに当たっては学識入れた答申、会みたいなのをつくったらどうだみたいなの  
があったりしたんですけど、それとはこの会は違うという形にはなってるんですけど、そ  
れとも混同されたりしたりするので、そういうところはちゃんとここで書いといたほう  
がいいかなと。

あとは運営方針ですね、覚書の話をして、実際どのような趣旨で運営を始めてい  
るのかとか、あるいは協議経過という形で、今まで何回議論して、どういったところが  
ポイントだったのかというところですね。最初総合的な見直しのページから入ってい  
て、質疑のやりとりして、一定回答を待ってるところとか工程表を確認したりとか検討  
協議会とかあったりもしましたんで、そういうところはまず最初のところで簡単にまと  
めて、これ簡単にというのがなかなか難しいんですけど、まとめた上で協議内容に入っ  
ていくのかなと。

協議内容については、前半戦、最初の1年ぐらいは公立保育園を取り巻く環境とか総  
合的な見直しという話がかなり出ていましたので、総合的な見直しの議論で我々が一定ま  
とめた資料、やりとりした資料とかありますので、そういうところを・・・として



出したりとか、あるいは検討協議会の中でも財政の話とかかなりしましたので、そういうところをまとめていくというところがあったりするかなと思います。

当然、中には保育園の役割とかというところがあったりするのですが、ここそ協議会が始まったときの一つの大きな柱だったということもありますので、ここについてはしっかりと書いておくんですけど、こちらのほうは市の出しているようなテーマもたくさんありますので、それに対して我々のほうも一定見解を整理しておくという形になるかなと思っています。

ちなみに、これ文章を出す中では当然協議会なので市と我々両方一緒になってつくるような話ですけれども、市のほうは今までの資料を中心という形で、何か新しく書いたりとか文章つくったりとかというような感じにはなかなかならないのかなというところかなとちょっと思っていますので、父母と意見が合わないところは両論併記的なところになるかもしれませんが、協議していったところが論点なんだよとかポイントになるんだよというところについては、出していけたらというところがこの①のところだったと思います。

一方で、②についてはまた全然それが違ってて、やっぱり意味合い的にはこの①の総合的見直しをするに当たっても、じゃ保育の質に影響が出てきたらどうなんだという話は常にあるわけですね。じゃその保育の質って何なのというところをしっかりと我々認識する。ないしはそこで見直しの協議がもっともっと具体的にできてきたときに、保育の質とじゃどういうふうな関係があるのかというところについてすぐに関連して話ができるよというところなんですけど、今3つぐらいちょっとあったのは、まず一つは保育の質とは何なのかというところについて、あくまでこれ保護者目線ですけども、保護者目線で先生の園児への対応だとか保護者への対応だとかいろいろそういった話があったと思いますので、そういったアンケートの視点を見る必要があるかなと。ただ、これあくまでアンケートですと。あとは保育理念の話があったかなというところが一つありますね。あともう一つは保育現場ということで、具体的に先生方の発表内容としてあって、それをまさにつけていったという話かなとちょっと思っています。

保育の質といったときに、やっぱりできればさっきの話じゃないんですけども、少し理念と言ったらあれなんですけどもポイントなり抽出できるようなものがあれば抽出していきたいなというところはあったりするんですが、違う意見とか何とかというよりは今までたくさんこういうペーパーを出していただいたんで、そこに流れる根っことい

うか、やっぱり子どもに寄り添うだとか子どものペースでとかってそういったのもあったりすると思うんで、最大の利益というところの中でこういうところが最大の利益になっているんじゃないかというようなところを、具体的な事例を入れながら端的に言えるような形にできないかというところかなと思っております。

これもし園長先生のほうでこういうふうな形、今まで出してきたペーパーをまとめていくところだとか、あるいは逆に第三者で父母のほうでこういうふうな形で保育の質というのは語れるんじゃないかみたいなのがあれば、ここはちょっとあんまり自信がなくて、前々からここはちょっとやんなきゃいけないとは思っただけど、やったら逆に落ちちゃうものがたくさん出てきちゃうんじゃないかという思いもあったりするので、ちょっとここは難しいなというのが正直なところですよ。

だから今、東海林さんなんかと言われるように違う意見のを入れるということもあるかもしれないし、一つあるのは我々普通にやってきたことは何かといたら、こうやってペーパー出していただいて、それに対して我々はコメントして議論してきているので、それをやっぱりまとめるというのが基本なんじゃないかなというのがここで話してきたことということのやっぱり積み上げですので、議事録をもう一回読み返してそこで話してきたこと、議論してきたことということ、こちらが資料を出すとしたらその前段につけるような形のコメントという形になるんじゃないかなというのが一つの考え方です。もしご意見があればお願いしたいなと思っています。

あとは保護者が求める保育ニーズについては、これはもうアンケートがいっぱいありますので、五園連の要望書とか回答とかということになります。ただ、その前段階とすれば、考え方、ニーズの捉え方とか保護者のアンケートをどういう意味でやってるのかということは大変な事になって思っていて、この中でもすごい議論しましたし、以前、片桐さんなんかも言っていましたけども、ニーズは僕らにとってあるのは間違いなくて、要望自体は絶対要望はあるということで要望を出すんですけど、一方できょうもありましたけど現状の保育への影響、そういったところについてはしっかりとあって、一番わかりやすい例で言ったのは駐車場が欲しいけども、じゃ園庭潰して駐車場つくるとしたらそういうわけじゃないとか、あるいは延長保育をじゃお願いすれば、延長保育することによって体制が整わないのにやってもそれは無理があつたりとかということがありますので、そういうところがあります。

本当はちょっときょうもアンケートの話したときに、4月に向けて延長保育の話と

かどうなってるのかなとか予算どうするのかなとかという話とかも確認したいところはあったんですけど、ちょっときょう時間なかったからしませんけれども、そういったところも踏まえて今協議してて、やっていただいたことも結構ありますね。きょうもセキュリティの話なんか小金井保育園なんか今年度対応できるんじゃないかとか、個別の話は個別の各論とかあると思いますので、そういったところは個別の各論としてまとめた上で全体的な考え方というところももうちょっと一回整理しておく必要があるのかなというのがこの③番の話という形です。

④番は当面の課題という形で、方法を毎回毎回現状保育士体制の話や臨職の方を含めて欠員の状況とかなんとかということもありましたし、前回ちょっとお話しさせていただいたのはそれが単に足元の話だけではなくてきょうペーパー出した話とか、寺地さんなんかも任期つきの話なんかをどうなってるのかという話、初歩的な話も当面の課題の中で話をして、ここで話もあったとは思いますが、きょうのペーパーなんかも含めてちょっと保育体制の形についてはニーズのところでやってもいいし、公立保育園を取り巻く環境とか総合的見直しのとこでやってもいいのかもしれませんが、ちょっとこのあたり一つ取り出すとしたら過去の資料とか結構ありますので、ここでやるのも一つかなとちょっと思っています。

4番は協議内容とちょっとまた別に項目立てて、あるべき公立保育園の姿という形で公立保育園の役割だとか実現に向けた課題だとかというところでこれはしっかりと出して、要は我々の、僕がちょっとずっと思ってるのは総合的見直しという話があったときに、さっきの課長の話じゃないですけどもそれに向かって反対だとかだめだとかというそういう話ではなくて、まずは公立保育園の役割はどういうところがあって、それについてじゃどういうふうに関今後それに向けてやっていくのかというところの話の中で、先ほどからそういう話として中核的な話だとかスタンダードな方針を示すとかという話もあったりしましたので、そういったところは役割としてしっかりと出していけたらどうかなというところは思ったりはしますが、そういったところはもう次回ないしはきょうの協議会の報告書なんかを読んでいただいて、思うところがあれば言っていただければそれを踏まえてまた議論できるんじゃないかなと思うので。

あとは課題的なところで財政だとかなんとかというところはありますので、それは一定言った上でそれをどうするかということはきちっと一緒に考えていかなきゃいけないなというところでは。

あと資料なんかをつけてやるという感じで、できれば長く書いても父母は絶対読まないで、整理してまとめておくことは大事だけど、下手したら概要版もつくらなきゃいけないなっちゃったりするので、僕なんかは過去、ごみの委員会のときなんかは100ページぐらいの文章をつくって、概要版という形でやりましたけどね。あのときは毎回毎回議事録を抽出して、要約版みたいなのを毎回毎回つくったんです。それがあったからできたんですけど、今回そういったのを毎回毎回つくってないんで、一からつくらなきゃいけないとなるとちょっとなかなかもうしんどいなというところがあるので、ちょっともし皆さんのほうでこういうやり方だとかここをやりますみたいなのところがあったらぜひやっていただいてもいいかなと思っているので、ちょっと今ぱっと考えてるのはこういうことで、別に何か難しいことを考えてるわけじゃなくて、今まで協議してきたこととか既にしてきたことを単純にまとめるというだけなんですけど、そういったことを地道にやっていくという感じですね。

何かご意見とかあればなんですけど、あと1カ月、2カ月で。

- 八下田委員 この資料の中に、園長先生からの発表の資料そのものは入れないのですか。
- 三橋委員長 そうそう、それ書いてなかったっけ。（発言する者あり）
- 八下田委員 そうですね、この一番下の資料のところ。
- 三橋委員長 それ書いたつもりでいたけど、抜けてたらごめんなさい。抜けてますね。
- 八下田委員 きょうの小方先生からの、あとお泊まり保育以前だと食具の流れ、そういうものが。
- 三橋委員長 だから保育現場よりということで、園長先生からの発表内容のところ。
- 八下田委員 ここの「保育現場より園長先生からの発表内容」というところはそれらの概要でさっきおっしゃったけど、議事録とかを見て抽出して……。
- 三橋委員長 それで資料も全部それつけて。
- 八下田委員 で資料をつけて。
- 三橋委員長 ええ、そういうことです。
- 八下田委員 確認です。
- 東海林委員 くりのみの東海林なんですけど、僕、実はちょっとそこ何となくイメージが違って、「保育現場より」というところで資料をつけるというのはちょっとつけていただいて、余りまとめないほうがいいと思うんですね。そこからエッセンスを抽出しちゃうと、本当にふんわりした意見しか、意見というかフレーズしか多分出てこないと思います。一人一人を大切にして。保育理念としてそれがどうとこないと思うんですけど、「保育現

場より」というところでやるのであれば、その資料のもうちょっと読むのが大変なぐらいなやつをがっかつけたほうが何か僕はいいような気がする。

○三橋委員長　それも一つかもしれません。だからここは「保育現場より」は園長先生からの発表内容ということで、どっちかというと保護者からの視点というほうがそっちに当たるのかもしれないですね。保護者からの視点としていろんな意見があつてみたい、こういったような意見があるとかこういった話があるけれどもみたいな。それに対して、こういったような考え方もあるんじゃないかとかというようなまとめのほうがいいのかもありません。だからあくまでも現場からというところはもう抽出をしない、資料のみにするというのはいつかもしれません。

○東海林委員　もう1点いいですか。ここについては今回の報告書をどうするかもそうなんですけど、2年に1回最後でどっと出すという対象から外してもいいような気がするんですね。

○三橋委員長　保育の質。

○東海林委員　はい。というのは、その保育の質のところってあと2年待てないような気がするんですよ、何となく。

○三橋委員長　ちょっと意味が・・・。

○東海林委員　今回多少まとまったとしますよね。その次の2年後に保育の質の資料がなっちゃうというのは、もうかなりあるというような気がして。

○三橋委員長　そこをどうするかは次の方ですね。

○東海林委員　そういう意味ではもちろん次の方が決めていただいていいんですけど、僕の意見としては、ここの保育の質のところに関しては2年に1回の報告書で随時まとめればいんだけど、基本的には随時更新するような対象にしといて、それどういうふう、市のホームページで共有するとかつていろいろ方策は一旦置くとして、随時その都度その都度の議論を反映して、最新版というのをアップデートしていくような対象にしたほうが資料の内容としてはいいんじゃないかなと思うんです。

○三橋委員長　それは全然、ごめんなさい、そこまで僕、自分が来年度は正直いないというのがあつたりするので、そこまで僕が今責任を持ってコメントできないところがあるんですよ。東海林さんなんかはまだまだこれからあつたりするので、逆に次回の委員が集まったときにこの答申を見て、ここについては随時更新していこう。むしろ総合的な見直しのところがしょっちゅういろんなところからいろんな球が飛んできたりするので、そういうのをビビッドに反応したほうがいいんじゃないかというような意見があつてもおかしく

ないし、僕はあえてそういったところを自分は勉強はしてますけれども、一個一個反応するというよりはちゃんと自分たちの立ち位置というのをしっかりしようと思ってるというところがあったりとかもする。

だから保育の質について毎回毎回議論してるんだったら毎回毎回つけ加えても全然いいと思うし、むしろそういう意味でいうと、協議会一回一回やったら毎回毎回まとめの資料という形で要約を毎回毎回つくるぐらいのほうが本当はいいんです。そしたら最後2年たったときにそれとじるだけで済むんですよ。だから別にそれやり方は、その会議の運営の仕方次第。

○東海林委員　　そういう意味では確かに来年の人という……。

○三橋委員長　　そうそう、来年の人たちが。逆に今は2年分たまっちゃってるので、そのたまっちゃってるやつをまとめましょうというところが多分皆ずっと思いは一緒だと思うんで、そこについてちょっとやった上で、それを踏まえてどういうふうに料理してもらうかは次の方にやってもらえればなという感じかなと思います。

○東海林委員　　わかりました。

○佐久間委員長　　ほかにご意見等ございますか。

○三橋委員長　　公立保育園の役割とか、そのあたりどうですか。検討協議会の報告書は事前にちょっと配付されてて、検討協議会の議論あんまりできないと思うんですけど、あくまでこの報告書のまとめとして検討協議会の報告をちょっと一部使いたいなと思ったりするんですけど、そこはどうですかね、何か違和感あったりとか、ちょっとここのところはこうだとかというのがもしあれば。

○本多委員　　これはもう正式にこういう形になったんですか。

○三橋委員長　　なってますよね。その後にまたありました。それでいいわけじゃない……。

○岡崎委員　　でも、公立保育園のあり方、役割とかというのを検討する意義もこの運営協議会ってあるんですよ。

○三橋委員長　　ありますね。

○岡崎委員　　だとしたら、やっぱり検討協議会とは別な形で同じ意見だったとしても出す必要はある。

○三橋委員長　　もちろんおっしゃるとおりです。そうです。それをやるときに、この検討協議会の答申というのはそれもある意味箔づけにはなったりするので、もちろんこれだけじゃなくて少なくとも我々、市が出てきたときに市のやつだけじゃないよという話はしたつもり

だったんです。その市のやつだけじゃないよということを検討協議会に僕はちょっと言ったりかして、会長もそれはそのとおりだという形で認めていただいて、そのところはページとしていろいろと議論があったところなんですけども最終的には残って、それは両論併記でなくてしっかりと一つの答申としての意見として残ってるとこなので、それについてこれをまた持ち帰ってという形ですので、また肉づけなりなんなりというのがあればどんどん言っていただいとしたいと思います。

○佐久間委員長 ほかにご意見等ございますでしょうか。

寺地さん。

○寺地委員 小金井保育園の寺地です。

公立保育園の役割について、検討協議会ではこの一文で出たかと思うんですけど……。

○三橋委員長 一文じゃないです、それ検討協議会の資料の中で。

○寺地委員 そうか、これ意見書のやつだけど。

○三橋委員長 検討協議会としては……。

○寺地委員 もうちょっと出てるんですか。でも、検討協議会で出された公立保育園の役割と、ここで出される公立保育園の役割ってやっぱり多少違うと捉えていいでしょうか。

○三橋委員長 そうですね、ある意味参照して、こういうふうに検討協議会言われてますというふうに言った上で我々としてはそれに対して意見をつけるという形。

○寺地委員 意見をつける形。

○三橋委員長 うん、そのとおりはそのとおりで意見をつけるし、それだけでなくもほかにもありますみたいな形だったらそれはそれでつけるかと思えますけど。

○寺地委員 前の資料の中に、公立保育園の役割って何か資料出ましたよね。

○三橋委員長 ありましたよ。

○寺地委員 あれってあの後変わるこってなかったですか。

○三橋委員長 いや、検討協議会の中でもそれは出てて、それはまるっきり同じ資料が出てきて、その役割を一回話をしています。それに加えて、ほかにも役割ありますねという話をしたんですね。

役割は具体的に何かというと、行政機関としての役割、地域子育て支援としての役割、保育施設の拠点としての役割としてそれぞれ要保護児童に対してどうするか地域子育て支援ということで行政とかというものが文章で書いていたと思いますので、それはそれであった上で……。

- 寺地委員　　あった上で、前回のというかずっと前にその最初に公立保育園の役割の資料が出たときの案に、それは骨子案ということでまだそこに肉づけしますということであったんですけど、一応保育の質、保育の内容というものが全く入ってなかったという意見あったじゃないですか。
- 三橋委員長　　そうですね、それはおっしゃるとおりです。
- 寺地委員　　だからそういう意味で、その辺の保育の質を肉づけしていきたいというのが意見としてあります。やっぱりここで話されてる内容として保育の質ってすごい重要で、小金井の保育の特徴というのをもっと広めていくべきだし残していくものだというのを、公立保育園ではこうあり、その中にどう肉づけしていくかというのをどうやっていくのかなというのが思っているところなんですけど。
- 三橋委員長　　それが公立保育園には保育のスタンダードを継続的に実践していける体制にある、あるいはその質の観点という形で文章が入っているんですね。保育の質の観点から見れば、公立保育所は市が設置しているという条件のもと保育のスタンダードを継続的に実践していく体制にあるということで、こういったところが公立保育園の特筆として、一つの役割としてそれを示していくべきだということがはっきりと明確に示されているんですよ。
- 寺地委員　　そういったときに、検討協議会でもよく言われたのが、公立でやってる保育も民間でやってる保育も変わらないようにやっていますという話が出されたと思うんですけど、公立でやってることを指標にしていくのであれば、今の公立のやられている保育内容をもっと広めて、それを指標にして民間と公立でもいいところを切磋琢磨していけるような、何かそういうふうな指標ができないのかなと思って。
- 三橋委員長　　そこはだからあれですよ、それはもうお互い相手があつての話なんで、例えば認証保育所から来てる委員の方なんかは公立保育所にそういうのを示してくれて、それを参考にさせてもらってという、研修とか何とかも含めてという話をよくされてた一方で、認可保育園から来られてる方なんかはもうやってることの質に違いはないという意見で、そういう話もあったと思うんです。だから逆に我々としてまずは示して、出していく。何も出すものがなければ、ただ単に自分たちがやってるってやっぱりまとめて出すだけでもすごいエネルギー要るし、公立保育園で5園でやって、それを議論してるということ自体それがまた一つの時間かけてやるような話になってると思うので、ここで民間の特徴として民間の施設は運営母体の違いがあつて、この方針に違いが見られてやっぱ



りそれが各保育施設の個性となっているという話だと思うので、別にそれを否定するものではないと。

○寺地委員 ないです。何かお互いによいところでよりよくできるようなという感じ。

○三橋委員長 ですよ。

○寺地委員 うん。それを言いたいので、だからそういうふうを考えていけるような何か指標、公立保育園の役割だといいなと思うんです。

○三橋委員長 そうですね。

○寺地委員 この間の検討協議会では、公立も民間も変わらないし、むしろ民間はすごい頑張ってるというふうに逆な意味で捉えられてしまうと、ちょっと余り前向きじゃないなと思ったもので。

○三橋委員長 ちょっとそこのところはどこに力点を置くかというところもあって、別に民間の人、今おっしゃってるところで決して矛盾というか、どっちが正しくてどっちが正しくないとかという話ではなくて……。

○寺地委員 うん、そういう議論にはならないようにしたいというか、何かお互いより切磋琢磨していけるような感じの議論にするには、どういうふうに公立保育園の役割、指標を提示していくのかなというのがちょっと課題なのかなと思うんですけど、行政機関としての役割としてはさっきの検討協議会の中では出されたと思うんですけど、もうちょっと保育内容とか保育の質に関しての指標をどうやって持っていくのかなと。

○三橋委員長 抽象的な話というか、保育の質を示していくべきだという話は質のことにしてもちゃんとこの検討協議会の答申の9ページのところを出していて、その上でそれは具体的に何なのかというところについては、この運営協議会のほうでこれが質の中身ですよというところは示していかなきやいけないということだと思うんです。だからそれがさっきから言ってるようにどういうふうにするのか、それが示せるのかというのが大事で、結局質は示さなきやいけないと言ってるけれども、じゃそれが示せないというかどうかというふうに示したらいいかわからないという話になってくると、またちょっとそれはそれで違った話になっちゃうので、別に民間は民間でそれを示してもらえばいいし、民間のほうでそれを示せるかどうかということも含めてですけどね、研修とか何とかも公開したくないなという話もあったりもしましたから、公立保育園は逆に言えばそういったところをオープンにして、皆さんに理解してもらえてという。だからこの検討協議会の場もあえて公開にして、こういう議論をしてるということはそういう意味ですということ

も含めてちょっとアピールしたところではあったんですけど、でも繰り返しになりますけどまずはそのためには我々が理解して、我々がちゃんとそれを伝えられるような形にしなければいけないので、そこはすごく大事。だからおかげさまで僕もちょっとここで議論したから、検討協議会で少しは話ができたかなという感じでしたけど。

○寺地委員 当面の課題の保育士体制で、ここが最初立ち上がった当初からもうこれはそのときに非正規採用という話があったばかりのところだったので、そこはしっかりと資料として何か……。

○三橋委員長 あえて項目を出してということですね。

○寺地委員 出していったほうがいいのかと思うんですけど。

○三橋委員長 僕も総合的見直しの中に一つかなとも思ったんですけど、あえて当面の課題が毎回毎回ちょっとやってるし、実際に数字自体もまとめていただいていますし、あるいは今回ペーパーみたいなのも26年4月もそうだし今回もそうだし出しているの、そういったところを踏まえてちょっともう一回整理をしておいていいんじゃないかなというところで。

○寺地委員 今回のアンケート結果で第1位になるぐらいな背景がどうあったかというのを、説明はしっかりするべきなんじゃないのかなと思っているんです。

○三橋委員長 その意味でいうと、やっぱりきょうのペーパーというのはその説明のかなりの骨格になるんじゃないかなと思っはいるので。

○寺地委員 以上です。

○三橋委員長 ありがとうございます。

ほか、いかがですか。

○岡崎委員 岡崎ですけど、今の意見を受けて、保育の質というキーワードが結構一番ですよ。それと、今、寺地さんが言った当面の課題との因果関係まで踏み込むか、もしくは公立保育園としての運営形態の部分まで保育の質との因果関係まで絡ませるかということかななんて思いました。

○三橋委員長 その観点は非常に大事で、それはどういうことかということ、まだ市のほうで具体的な提案がないんですよ。だから検討協議会のほうの話でも、ちょっと後でもう時間ないからきょうはできないですけど、要は検討協議会をやってても常に我々言ってるのは、覚書にもそうですけど、我々別に父母の中で賛成か反対か取りまとめしてるわけ、個人的な意見は唱えてますよ、僕も個人的な意見は持ってますけど、やっぱり代表として

出るという観点で市とこうやって協議をしてる中では、やっぱりそれはお互いもうそんな何か結論出して、その結論を前提に話をするということはお互いやめましょうと。ちゃんときちんと余談を持たずに、議論としては真っさらな状態で始めましょうというところはあるわけですね。

そういう中で、今言った因果関係の話だとかなんとかということになってくると、かなり各論というか具体的にこうやっていく話、シミュレーションが必要になってくる話になってくると思うんですね。それってシミュレーションするためには、やっぱり市のほうからある程度こういう委託ですとかこういうようなものですとかって、そうするところというような状況です。やっぱり影響がありますよといっても、こうやれば大丈夫なんじゃないという議論がいろんなことを言われるわけです。だからまずは保育の質こうです。じゃこういうような運営形態の見直しがあったら質としてはこうですみたいな話になってくるところもあったりするので、一つの考え方としてそういったようなことの因果関係がありますよ一言言うだけだったら簡単ですけど、具体的にこういうふうな因果関係がありますよとかなんとかという話になってくると、ちょっとそれはやってられないじゃないかなと思ったりは。

○岡崎委員　いや、それぞれ皆さん思うところがあると思うんで、そこはそんな感じでふわっといくんだったらそれかなという感じですね。

○三橋委員長　逆に言ってください。逆に岡崎さんの思いはどんな感じですか。

○岡崎委員　正直今委員長が言ったように切りがないかなという気もしなくもなく、ちょっと論点がずれちゃうかもしれないですけど、保育の質に関しての明文化というのも非常に難しく、もう私はこの会議に出させてもらってからずっと保育の質っていう初めて聞いたような話をずっと聞いているわけで、これがキーワードなんだなんて思いながらずっとこの会議に参加してたんですけど、正直さっきの、勝手な思いなんで誤解していただきたくないんですけど、公じゃなくて民のほう頑張ってるって保育やってますというのって、単純にそれって何かプロモーションが上手とかね、明文化するのが上手なだけなのかもしれないなって、悪口じゃないんですけど。いうのからすれば、保育の質っていうところを明文化するのって非常に難しく、多分おっしゃられたように言い尽くせないなというところがあるんです。だからどこまで書くべきなのかなという。

　　だけど来年度も続くということを知ったので、東海林さんがおっしゃったようにずっとアップデートしていけばいいんだなという。ある意味託すというところもできるし、

運営協議会の個人ごとの名前を出すんだったら僕は因果関係まで突っ込んで意見を言っちゃいますけど、運営協議会全体としての報告書を出すんだとすれば皆さんの意見を聞きながら、ちょっとずるい言い方かもしれないけど答申をまとめていくということで依存はないというか。

○三橋委員長　ごめんなさい、その観点でいうと、この4番までしか書いてないですけど5番とか6番とかの中に各委員からの意見とかコメントとかというところ、例えば子ども・子育て会議あるんですよ。

○岡崎委員　そんなのあるんですか。

○三橋委員長　やってる。別にやんなきゃいけないということじゃないんですよ。やっぱり自分でこの委員会を通して2年間やっていく中で、こういうところがどうだったとかって感想を書いているようなペーパーもあるんですね。それやっちゃいけないわけじゃないんで。それはだからぜひ各自思いがあるんであれば入れていただいてという形なんですけど、ただこの場合、父母側だけになる可能性が結構あったり、先生とかも書いていただけるなら書いていただくなり、事務局も書いていただけるなら書いていただきたいんですけど、そういうようなところもあったり。（発言する者あり）そういうことですよ。委員の後書きという形で。これ子ども・子育て会議のやつは常にこういうのをやってるんですけどね。

○佐久間委員長　のびゆく子どもプランの最後に委員の後書きというのがあって、委員の方々がこれをつくったときの思いとかそういったものが全部載っています。

○三橋委員長　それでも2年間やったんで、そういうのがあって当然しかるべきなんで。

○八下田委員　あっていいと思います。

○三橋委員長　じゃそれ入れましょうか。それはもう一人……。

○保育課長　我々も委員なんですよ。

○三橋委員長　そうそう。そこが僕も今若干ひっかかって、あえてちょっとそこのところは書かなかったんですけど。

○佐久間委員長　今ちょっとご意見出ましたけれども、ほかにご意見等ございますか。ちょっと時間もだんだん押してきましたので。

この件については一旦ここで今のご意見で、ここでちょっと一旦締めさせていただきますと思います。

以上で(6)の公立保育園運営協議会報告書の取りまとめについて、それを終了させてい

たきます。

次に、議題(7)小金井市保育検討協議会についてを議題といたします。

資料説明をお願いします。

○保育課長補佐 保育課長補佐です。

資料118をごらんください。こちらにつきましては、保育検討協議会として取りまとめた報告書になります。保育検討協議会につきましては、昨年6月29日に第1回目の会議を開催いたしまして、当初では8回の予定でしたが、8回で意見集約に至らず、さらに1回追加し合計9回の会議を重ね意見の取りまとめを行いました。こちら、本日資料提出したものがこの報告書になります。

こちら当運営協議会からは2名の委員、三橋委員長と八下田委員にご参加いただきました。また、三橋委員長には検討協議会の副会長をお願いいたしまして、会議の運営にご協力をいただいたところでございます。三橋さんと八下田さんには改めてお礼を申し上げます。

この報告書なんですが、先週の1月20日水曜日に検討協議会の会長である師岡先生と三橋副会長とで市長のほうに直接お渡しいただきまして、報告をしたところでございます。

内容といたしましては、今後の小金井市の保育行政において重視すべき事項として大きく4つの項目を掲げまして、それぞれに対して委員の忌憚のないご意見をいただき、まとめたものです。

ちょっと資料の9ページをごらんください。9ページの(2)公立保育園の管理運営の効率化につきましては、一つの意見というところでは集約することはできませんでして、5つに分けてこちら列記いたしました。1点目としては公立保育所の管理運営のあり方に関する意見、2点目としては公立保育所の管理運営の効率化として民営化推進を求める意見、3点目として公立保育所の管理運営の効率化として条件つきで民営化を容認する意見、4点目として公立保育所の管理運営の効率化として財政面からの視点で民営化を検討することには反対する意見、最後5点目ですが、現状の公立保育所の運営形態を見直すことに反対する意見、以上5点を列記させていただきました。内容については、こちらの資料をごらんいただきたいと思います。

資料説明については以上です。

○佐久間委員長 資料説明が終わりました。

先ほど説明しましたように、この報告書につきましては1月の20日に師岡会長と三橋副会長が直接市長を訪問し、朝9時から9時半の間でこの報告書を提出して、その後市長とお話した関係がありますので、そこで何かありましたら三橋委員長のほうからお話しいただきたいと思いますが、どういったお話をされたかとかね。

○三橋委員長　まず、ちょっと検討協議会の報告書についてはこういった形でまとまって、これについては正直一個一個、先ほどから話あるようにいろんな方の思いが入ってて、多分その解釈の仕方とか読み方とかというのも若干人によって違ってくるんじゃないかなというところも正直思ったりもします。

多分この後この答申がどういうふうに利活用されていくかというところについては、事務局のほうで議論の経緯をよく理解されていると思うんで、そこをしっかりとちょっと読んでいただいて、先ほど藤井さんがあえて意見を取りまとまらなかったところについてのみだけコメントがあったというところからしても、やっぱりちょっとそういったところはそこはそこで一つポイントなところですので、これをどう解釈するのかとか、本当はちょっとそういったところはもう今この場で話をしたいですし、さっきちょっと民間との話もあって、民間のところ頑張ってる話を結構されてる話もあったりとかして、会長もそれに関して別に否定的な話じゃなくて、僕も全然それを否定するわけでもなく、八下田さんは後でコメントあったら言っていただければと思いますけど否定するわけじゃなくて、むしろ公立も民間も頑張っていけばいいよという話をしていた次第で、その答申の中身としてしっかりとそういったところが入ってきていると思っています。

ただ一方で、では我々民営化というのが何で心配なのかというところについても、最後の最後は一定リスクの話だとか、別に民間が全て悪いわけじゃなくて、確率論的な話を含めてちょっとどうかというところについては文章の中に最終的には入れさせていただいたりとかというところもあります。

ちょっとそういったようなところなんですけど、これを今やり出すととても10分20分では終わらなくなってしまうので読んでいただいて、むしろ僕からよりは皆さんからコメントもらったほうがいいのかなど思ったりもしますので、ちょっとこれは置いときます。

一方で、今部長のほうから話がありました市長のところへ行って何を話したんだというところなんですけど、まず師岡会長からは本人は非常にいろいろと思いのある形で結

構熱い方なんです。すごいいろいろと保育に対して当然識者ですから思いはあるんですけど、そういった話は一切検討協議会の場とかあるいは市長の前ではされなかったですね。もう淡々とまとめ役だという形で、でも何回かちょっと言ったときがあるんですけどね、大塚委員に対してちょっと反論するときにはみずから反論したりしたときとか、何回か言ったタイミングはあるんですけど、でも基本はそういう形でまとめられた。市長の前でも、淡々とこの4つの大きなポイントを読み上げというかそれを整理してお話しされたという形、それが一つですね。

僕は、じゃ逆になんですけど、若干市長から熱い思いありがとうございましたというお声があったかなぐらいだったんですけど、何話したかという、副会長の立場なので公立のことだったり話すというのもちょっといかなものかという思いもありましたので、まずはこの答申の意味として主体的、積極的に市がかかわってほしいというようなことがずっと言われているということを書きました。前段のところ、初めのところで今何が課題なのかといったときに、やっぱり子ども・子育てを取り巻く環境というのは時代の変化に伴って困難を増して、経験が減少して、自制心や規範心の芽生えとか知的好奇心とか命の大切さの気づきなどが十分に育成されない。やっぱりこういったところこそがこの協議会で問題視することであり、根底にある話だということを書いて市長にちょっと言った上で、その上でこの初めのところの最後に入れたところも保育の質の向上及び子育て支援の充実が図られるための保育行政を積極的に推進してほしいということであるところ、別に民間とか公立問わず市がもっと積極的に関与してほしいということを書いているんですよ、この答申というのは。

逆の立場で、市はもっともっと手を引いて、もっともっと効率的にやるべきだというような意見もあると思うんですよ。もう一方のできるだけスリム化しようというようなところでなくて、委員の総意として市がもっともっと積極的に、公立もそうですけど民間も、民間のところへなんか市がなかなか関与するというのは難しいところもあるんですけど、それをもっと把握してやってほしいというところがありますので、そういった意味で主体的、積極的に市にかかわってほしいというのが答申ですという話をまず一つ言ったというのが1個です。

もう一つは、じゃそれで具体的に何をやるのかという話をしたときに、もちろんこの管理運営の効率化のところも論としてあるんだけど、そこは議論が対立して分かれているところなので、そうじゃなくって一番最初に我々議論したのはやれるところは結

構ありますよと。もう研修だとか市が民間のことを把握して、保育の質の向上なりやっ  
ていけることが結構いっぱいあるというところがあるので、それがこのその他のところ  
で書いてある。最終的にはこれその他になっちゃいましたけど、一番最初はこれこそが  
一番最初にずっと議論してて最初のほうのページにもあったぐらいだったので、そうい  
ったところがまずあるという話もちよっとしたのが2点目ですね。

その後、じゃその意見が割れてるところということで公立保育園のことに関しては、  
公立保育園の役割ということがさっきから言ってるとおりに出ているということで、これ  
についてはスタンダードとか、単に行政の役割とかということではなくてスタンダードな  
役割がありますというところで、そこをしっかりと認識してほしいという話をして、逆  
に言えば、それを認識していただければ自然と公立保育園というのはどういうふうにあ  
るべきかというのが出てくるというものだというふうに、そこまではちよっとはつきり  
とは言いませんでしたけども、やっぱりそのあたりの話というのは五園連のこの意見書  
と要望書がありますので、こういったところの場で後日話させていただきますというこ  
とだけ言った次第です。その場では言う話ではないなと思ったので、そこではそこまで  
にとどめました。

あと最後というか、小金井市のちよっとこれはまた僕が個人的に思ってるところであ  
ったんですけど、これも保育だけじゃなくって市の行政が補助金行政になってる。補助  
金が全て一つの政策の指標になってて、これは保育だけじゃないんですけど、僕もツイ  
とか長計とかでやってる話をする中で、まず何か施策をやろうとするとどんな補助金あ  
るかとか、あるいはこんな補助金があるからこういう施策ができるとか、補助金の勉強  
から入るといぐらいなんですよね。だからこの補助金があるからこれができるとか、  
この補助金があったからという形になって、検討協議会の議論も若干そういったのに近  
いところがあって、要はこの補助金がこうなったからという話からちよっとスタートし  
てるところがあって、こういった補助金行政をやめようというところで地方交付税とい  
う形で三位一体改革があって、地方交付税に全部一般財源化したんだけど、一般財源  
化すると逆に補助金がないからむしろこれ公立やめようみたいな話、これ何なんだとい  
う話なぐらいなんですけれども、やっぱり今の補助金行政がいろいろと問題になってい  
るというところがあるので、ちよっとやっぱりそういった発想じゃなくてやっぱり何を  
あるべきなのか、どうしたらいいのかというところがまずあった上での補助金ですと。  
別に補助金取ること自体を否定しないけれども、やっぱりそういったところが大事だと



いう話をあえてちょっとした次第ですけど、どこまでそれが伝わったかどうかはわかりませんが、一応そういった話を僕のほうからはしてきました。

あとは帰り際に文書を市長に手渡して、きょうはそういう会じゃないからということで部長に預けますという話をしたんで、預けた上で部長のほうでさっきのような扱いをしていただいたという形になっております。すみません、ちょっと長くなって。

○佐久間委員長 ありがとうございます。

今回、報告という形でございますので、内容についてまた質疑をしてしまうと時間がたってしまいますので、必要なことなんですけれども、きょうここでというお話ではないかなと思うので、申しわけありませんが報告という形でまとめさせていただきたいと思います。よろしくをお願いします。

それでは、以上で(7)の小金井市保育検討協議会についてを終了させていただきます。

次に、(8)当面の課題を議題といたします。

資料説明をお願いします。

○保育課長補佐 保育課長補佐です。

資料119をごらんください。職員の募集配置状況でございます。

毎回提出させていただいているものでございまして、今回も臨時職員についての先月と比較させていただきました。先月の15日現在では4園で合計不足人数が1.01ということでございましたが、今回1月15日現在においては不足人数が2.90と大きく不足しているという状況がございます。

原因につきましては、特にくりのみ保育園で1名が加配対応が必要になったお子さんがいらっしやいまして、そこに対する臨時職員の措置がちょっとまだできていないという状況にございまして、現在は保育園の他の職員で見いただいているという状況でございます。ただ、こちらは2月1日以降には今現在配置予定ということで、調整させていただいております。

説明は以上です。

○三橋委員長 きょう時間が余らないんでちょっとあれですけど、ちょっと確認というかあったのが、毎回毎回こうやって数字的にはこう出て、臨職が足りないという話だと思っんですけど、これ臨職だけではなくて今正規が代替されて任期つきになってというところで、やっぱりそういったところがボディーブローにいろいろと聞いてきたりとか、一応2年間ですけども今時点で終わってというところで、多分当面のところ保育のところ非常

に何かトラブってるとかなんとかという話ではないとは思ってはいるんですけど、ちょっとそういったところもし何かこういったところが今気になってきているとか、こういったところが課題になってるとかというところが、もちろん園のほうからそういった話があれば逆にそれはすごい問題なんですけれども、なかなか園のほうはしゃべりにくい中で、父母のほうでこういったこと気づいちゃったみたいなのもあるのであれば、それはそれで都度言っていただいてという形で思ったりはします。

一応これ臨職ですけど、臨職以外は今大丈夫ということでもいいですよ。ほかのパートとか。一旦パートとか大丈夫だったからいいかなという話だったと思うんですけど、とりあえず園のほうで。ここは今臨職ですけど、本来的にはだから正規については全部任期つきで対応してて、あとはあれか、1人だけ臨職対応になってるんですけど。途中で退職出た人だけ臨職対応にしてるんですね。ちょっとそういったところがこれだと見えてこないとかだと思うんで、そういった中で去年とか一番きつかった時期があったりはしたのか、それともそのときと比べて今は少しは楽なのかどうなのかというのもちょっと実態がよくわかってないところなんですけどもね、臨職でさえも毎日毎日何か電話をかけてるような、知り合いのつてを頼ってみたい、そういうような状況から全て走ってるという感じなんですかね。今実態はどうなんですかね。

○杉山委員      わかたけの杉山です。

結局は今はこれですけども、また少しすると状況が違うんですね。産休に入る人が出てくるとかそういうことがどこの園でもあったりとか、何回も出てますけど臨職さんが半年半年で1年たつと一月置かなければいけないときをどう埋めるかというのは常にあって、今がこれでありますが、来月になるとまた違うかな。3月になると産休入る人がいるとか、5月になると入る人がいるとか、その一月お休みの人がまた出てきたりとイタチごっこというか、いつしっかり安定するというのは臨職さんの雇用に関してはない、難しいですね。

○三橋委員長      何か意見とかコメントがありますか。

どうぞ。

○海野委員      けやき保育園で今産休、育休に入ってる職員が7人いるんですね。なので正規職員が退職して任期つきで補充しているという状況とあわせると、これから子どもを産み育てているという現役の保育士もいっぱいいるので、そういう正規職員の補充が正規ではないというような状況がすごく響いちゃうということがあります。これはけやきだけじゃ

なくて、ほかの園もそういう。けやきは7人というのはすごく突出していると思うんですけども、全体のパイが大きいので、それでもやっぱり厳しいなというふうに感じています。なのでそういうところもあわせてやっぱり正規職員の退職を正規でというふうなことが保障されていかないと、保育の質というのは本当に厳しいなというふうに感じています。

○三橋委員長 ありがとうございます。

寺地さん、何か。

○寺地委員 小金井保育園の寺地ですけど、わらしこ保育園の視察のときに自分の園でお迎え行ったりとかしたときによく見るのは、先生が時間に追われてる瞬間を見てしまったりするんですよね。そういうのを見ると、わらしこを見た後に先生たちが時間に追われていらっしゃるのを見ると、やはりちょっとこういうところでしわ寄せが来ているなど。影響が出ているなどというのが目にとって見えてしまうという。

○三橋委員長 わらしこと比較してという意味ですか。

○寺地委員 たまたまわらしこ行った後で。

○三橋委員長 わらしこはそこまで追われてないんだということ。

○寺地委員 うん。

○三橋委員長 わらしこ以上に追われてるということですね。

○寺地委員 何か先生たちが余裕がないと、もうそれだけで保育内容に影響出る子どもにも影響出るので、正規をとっていないということはもう少なからずとも多大にあるんじゃないですか。

○三橋委員長 わらしこって正規が多いですけど、でも割合的にはうちと同じぐらい、むしろうちのほうがちょっと人数的なところだけ見たら。

○寺地委員 時間の入り方が違うんですね。

○三橋委員長 そういうことですね。

○寺地委員 うん。

○三橋委員長 それはそうだ。細切れですよ、公立の保育園は。

○寺地委員 そう。この0.、これでは出ないですよきっと。以上です。

○三橋委員長 別に正規とか、それこそ細切れだというあたり、そういうのはちょっと大変ですね。

○寺地委員 何かだからそもそもの保育体系、対応体系というか、それが本当に何でこんなにいっぱいあるんだと逆に思うんですけどね。

○前島委員　　くりのみ保育園の前島です。

加配のお子さんの1欠のは、本来は任期つき職員さんの募集が1カ月おくれ募集がいなかったんですね。それで1カ月延びてしまって、加配に移っていただく予定だったんですけども、任期つき正規職員さんが1カ月入らなかった分が今あいてしまってる状況です。なので来月には任期つき正規職員さんが産休の代替の方が入るので、加配のお子さんも移っていただけるという状況です。

○三橋委員長　　でもやはり1カ月間あれですね、臨職が足らなかったんじゃなくて本来は任期つきが足らなかったということですよね。

○前島委員　　そうです。

○三橋委員長　　だから表的には臨職だけ。

○前島委員　　はい。

○八下田委員　　小金井、八下田です。

人が足りてないなという瞬間を感じちゃった場面で、お迎え行ってパートさん同士が、あれ、あなた何分からあっちの部屋じゃないのみたいな……。

○三橋委員長　　それよくありますね。

○八下田委員　　その時間も50分とか40分とか、00分とか30分じゃないんですね。50分とかそういう微妙な時間で交代するんだというのにもびっくりしましたし、シフトであるんでしょうけど。「ええっ、あなたきょうはあっちじゃないの。」「ええっ、そうだったっけ」とか、あと電話が鳴って、「何々さんこっちですよ」って言われて、「ええっ、そうですか」というのを本当に大げさでなくて今言った全部3回か4回見聞きしてるので、親の前でも。先生同士で行かないと帰れない人がいるんでしょうからそういうのをやりとりしてて、ちょっとこんなんでもいいのかなと。

もうそればかりにとらわれちゃって、そのときは子どもの状況見れてないですね。他には例えば移動してる間、1階から2階に行ったりとか2階から1階に行ったりしてる時間ももったいないというか、その時間保育に当たれてないわけですから、数分ですが人が上へ行ったり下へ行ったりという間もどうかなというふうに感じる場面をよくお見かけします。以上です。

○小方委員　　小方です。

これごらんとおり、この数字は朝夕ががたがたに抜けやすいということで、これやっぱマジックがかかってて、この斜線だったのが募集人員がふえてるところの配置済

みが6.50ってあるんですが、これも本当はここゼロの状態、ここに組み込まれてる人たちの中の例えば週に2日勤務の人をもう1日働いてくれと拝み倒し、週3日にしてもらって週1日だけ入れるみたいな感じで、しかも7.5時間は働けないので6.5みたいな感じで、15日はこうですが、20日からはうちまた丸々1人欠けてたりとか、この表はすごくマジックがかかっているんですが……。

○寺地委員 同じ人に見えますもんね、同じ人が入ってるように。

○小方委員 そうですね、パートさんが体制表を読み切れなくて、50分で呼ばれてる人は50分で動くんじゃなくて、45分に行かなきゃならなかったところになかった人たちが電話で呼び戻されているという状況で、本当細切れで動いているのはでも確かです。

○三橋委員長 今はこうやってまだこういうふうなくらいで済んでるからいいんですけど、何かちょっと……。

○八下田委員 あったとき。

○三橋委員長 そうそう。それがないだけまだ頑張ってるなという感じだとは思いますが、そうですね、ちょっと少しずつでも改善できるようにしていただきたいなと思います。

ほか、いかがですか。

○小泉委員 小泉です。

前にも言った1カ月は空白期間はとらなくていいというのが出てるのに、それは結局解消しないんですか。

○三橋委員長 これは市のほうで。

○保育課長 この前そういう話があってお答えしたとおりですけど、今、職員課で検討しております。

○三橋委員長 逆に保育課で何か判断する云々というよりは、職員課がもうそういうようなやり方で過去のやり方を引きずってやってるということだと思うので、場合によってはちょっともう職員課のほうにかけ合うしか、保育課のほうから言ったとしてもなかなかちょっとという話よね、今のこの話は。

でも、逆にもうこれだけ保育の現場が大変だということを踏まえて、なかなかそうかという……。

○小泉委員 新しい市長で新しいチャレンジをお願いしたいですね。何かちょっとこの表から見たらすごく小さい変化かもしれないですけど、やっぱりこんだけ穴あいた状態になってる

わけだから、それを少しでも改善するためには今までどおりパートさん、臨職さんの募集してます、あちこちにやっていますだけじゃなくて、違うやり方で方法があるわけなんだから、そこに踏み込んでいく必要があるんじゃないかなと。

○三橋委員長　　というご意見があったということで。

○保育課長　　職員課のほうも臨職採用、うちであったりほかの課もあるんですが、基本的にうちの保育士のやっぱり採用はなかなか難しいというのが、資格職ですから、今保育士不足と言われてる中で職員課のほうも募集かけてる中で応募がないというような状況、応募というか登録がないという状況があるので、危機感を持ってるところなんです。我々いろいろ接触する中で何とかしてくれという話は常々言ってるんですけども、なかなか改善されてきてない。

この前、小泉さんのご質問の中で、国の文書が何か出てるというご説明した段階で、職員課のほうでも対応については検討しているという話があったかなというふうに思います。その後の状況、その辺確認していないんで明確にお答えできないんですけども、問題意識としてうちだけでなく職員課も持っているところですよ。

○三橋委員長　　ちょっとそこは逆に課長のほうからもう少し、なかなか重い腰を上げてもらうように言うというのは一つ手段としてあるのかなとちょっと今聞いた限りでは思いますけど。

○保育課長　　それはちょこちょこ接触する機会があるので、言えるタイミングがありますのでそれは伝えていきたいと思います。

○細部委員　　すみません、わかたけの細部ですけど、前、人のやりくりをどうやってるかというのをちょっとぱっと目でわかるようなのをつくっていただきましたよね。あれなんか見ると、確かにこれで足りない人数が固めちゃうとこれだけだと、実際はその中のやりくりをいかに細切れにしている、その調整にも先生たちの稼働がかかっているし、それを変えていく間のリスクもすごく高い。物すごい危険が多くなっているという実態を何か人の関係をやっているところにしっかり見せて、要はどんどんどんどんとりあえず手当てすればいいじゃなくて、その中身のところが物すごく劣悪な状況なんだというところをしっかりと見せたほうがいいと思うんですよ。

結局、雇用、新規の採用はしません、正職としてはしませんみたいなのがずっと続いたりしてるんですけど、本来もうそんなの続けてたら、どこで事故が起こってしまっ取り返しがつかない状況になるかがわからないすれすれのところなんだというのを、もうちょっと強く私たちも訴えなきゃいけないんじゃないかなという気がするんですよ。

こうやって何となく見せかけ、何となく見繕えてるようなものしか出してないと何となく大丈夫なような感じがしてしまっているけれども、実態はその中身は物すごく危険が高くなってるといふのを言わないと、これで済まされちゃうような気がしているんで。

○三橋委員長　じゃ市長に言いましょう、次回。

○細部委員　何か市長に懇談会のときにそれ見せて。

○三橋委員長　一応とりあえずどう反応するかは別にして、こういうのが実態としてありますよというところはお伝えするというのはいちつあると思うんで、それは理解してもらった上でまたちょっとあれですね、いろいろとお考えとかあるとは思いますが、とりあえずお伝えすること自体は別にしちやいけない話じゃないと思うので。

○佐久間委員長　この件について、ほかにございますでしょうか。よろしいですか。

それでは、以上で当面の課題についてを終了させていただきます。

次回の日程の確認を議題としますので、ちょっと若干休憩をさせていただきます。

休　憩

再　開

○佐久間委員長　すみません、再開します。

次回については28年の2月29日の月曜日、時間は7時半からということで、場所については追ってご連絡を差し上げるということでよろしいでしょうか。よろしく願いいたします。

以上で本日の日程は全て終了いたしました。

遅くまで大変お疲れさまでございました。ありがとうございました。

閉　会